

令和4年度

足立区立小・中学校PTA

ブロック研修会実施記録

足立区立小学校PTA連合会

足立区立中学校PTA連合会

足立区教育委員会

は じ め に

めまぐるしく変化し、多様化する社会状況の中で、子どもたちを取り巻く環境も著しく変化し、また求められるPTAの役割も多種多様化してきています。

このような中で、小学校では「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」、中学校では「子どもたちのためのPTA活動とは」をテーマに、令和4年度ブロック研修会が開催されました。

これらのテーマには、変化の激しい時代にあって、家庭教育の重要性が叫ばれ、また、教育改革が進行していく中で、PTAのあり方を再検討していきたいという、小・中学校PTA連合会の願いが込められております。さらにいえば、流れに身を任せるのではなく、教育改革の実効性を高めるために、PTAは何をなすべきか、という視点に立った議論を展開したいという思いもありました。

PTAは、児童・生徒の成長を支援するとともに、大人である会員自身の成長をめざす組織でもあります。会員や予算の減少、役員のなり手の問題等、多くの困難を抱えています。しかし、困難な状況であるならば、それらを乗り越えていくために、より広い視野に立って考えることが必要となります。そのひとつの機会として、このブロック研修会があります。また、他校のPTAとの情報交換などを通して、自らの活動を見直す機会でもある本研修会は、非常に重要な意味を持っています。

研修会の一端を、ここに実施記録として発行いたします。この記録が、今後のPTA活動の充実に役立てば幸いです。

おわりに、本研修会の実施ならびに記録の発行のためにご協力いただきました皆様方に、厚くお礼申し上げます。

令和5年10月

足立区立小学校PTA連合会会長 大久保 孝雄
足立区立中学校PTA連合会会長 那須 康一
足立区教育委員会

目 次

小学校PTAブロック研修会

第 1 ブ ロ ッ ク	2
第 2 ブ ロ ッ ク	6
第 3 ブ ロ ッ ク	10
第 4 ブ ロ ッ ク	13
第 5 ブ ロ ッ ク	16
第 6 ブ ロ ッ ク	19
第 7 ブ ロ ッ ク	24
第 8 ブ ロ ッ ク	34
第 9 ブ ロ ッ ク	45
第 1 0 ブ ロ ッ ク	58
第 1 1 ブ ロ ッ ク	68
第 1 2 ブ ロ ッ ク	72
第 1 3 ブ ロ ッ ク	75

中学校PTAブロック研修会

西新井北ブロック	79
江 北 ブロック	81
千住・中央ブロック	84
竹の塚ブロック	87

小学校ブロック研修会

ブロック	開催日	会場校
1	10月26日(水)	千寿小学校
2	9月3日(土)	扇小学校
3	アンケート開催	興本小学校
4	2月25日(土)	関原小学校
5	7月9日(土)	弘道小学校
6	7月2日(土)	北三谷小学校
7	アンケート開催	六木小学校
8	11月23日(水)	加平小学校
9	アンケート開催	花畑第一小学校
10	アンケート開催	保木間小学校
11	12月16日(金)	伊興小学校
12	アンケート開催	鹿浜第一小学校
13	11月5日(土)	舎人第一小学校

【研修テーマ】

昭和63～平成14年度	これからのPTA活動のあり方を求めて
平成15、16年度	教育改革とこれからのPTA活動のあり方
平成17年度	教育改革の中のPTA活動と家庭教育
平成18年度	これからのPTA活動のあり方と家庭教育
平成19、20年度	家庭の教育力向上をめざす学校・地域と連携したPTA活動
平成21年度	家庭の教育の充実に向けたPTAの役割とその活動 ～教育の原点は家庭～
平成22～26年度	家庭教育の充実
平成27～29年度	PTAには・・・
平成30～令和2年度	これからのPTAには・・・
令和3年度	ニューノーマルの中でのPTA活動
令和4年度	自粛の中でのPTA ～今何ができるか～

第 1 ブ ロ ッ ク

千 寿 小 学 校
千 寿 本 町 小 学 校
千 寿 双 葉 小 学 校
千 寿 常 東 小 学 校
千 寿 桜 小 学 校
千 寿 第 八 小 学 校

第1ブロック

『PTA活動におけるITツールの利用について』（令和4年10月26日（水）実施）

令和3年度以降、千寿小学校PTAにおけるITツールの導入経緯と実践事例を各校に共有した。その後、簡単な意見交換/質疑応答を行った。

○Agenda

- ・PTA本部に参加して感じたこと
- ・なぜ？（問題点）千寿小の場合
- ・これまでの取り組み ～令和3年度以降～

○PTA本部に参加して感じたこと

- ・想像していたよりもずっとアナログ...

PCはあるけどオフライン！？

連絡は基本的にお便り（紙）で手渡し！？

各種記録も紙で保管！？

- ・学校に行かないと話にならない
- ・日々の状況変化が目まぐるしく、対応が遅れる
- ・保護者は参加するのにハードルを感じている方が多い

>>>現状に合わせて“変化”が必要！

○なぜ？（なぜ上記のように感じた？問題点は何？） 千寿小の場合

- ・児童数が多く、諸対応に手間/時間/コストがかかる
- ・本部役員数が多く（50人規模）、情報伝達/意見集約に時間がかかる
- ・ITツールの利用に対する嫌悪感、変化を好まない風潮が根強い

>>>電子ファイルの利用や手持ち端末（スマートフォンなど）の有効活用等、まずはできることから始めました。（実際に体験し始めた）

○これまでの取り組み

- ・Band（コミュニケーションツール）の導入

>手持ちの端末から、チャット、掲示板、カレンダー、アンケート、データ共有などタイムリーな対応が1つのアプリで可能になった

- ・Wi-Fi回線確保
- ・Zoom有料アカウント取得
- ・Google Workspaceライセンス取得（都Pから無料提供）
- ・Office365 E1ライセンス取得（都Pから無料提供）

> 自宅でも作業が可能な環境を整備

○Google Workspace について（おすすめ）

- ・デバイス/ブラウザを問わず利用可能
- ・Drive, Forms, Meet を含む一通りのアプリが使用可能
- ・取得ライセンス間での文書共有/共同編集が可能
- ・データ保存先はクラウドサーバー
- ・サーバーの保守管理、セキュリティ管理などは Google が対応

～活用事例～

- ・Google Drive：作成した文書をオンラインで公開
→学校メールを利用し、URL を掲載して配信することで紙を削減。
印刷/配布の手間をカット！
- ・Google Forms：オンラインで意見集約ができる
→集計作業の簡略化。紙の管理にさようなら！
- ・Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドを使用可能
→PTA の作業を PTA 保有のライセンスで実施可能。（場所を選ばず作業可）

～注意～

- ・オンラインで作業をする為、運用方法の整備が必要。外部公開の際などは、個人情報に配慮する。
- ・取得したライセンスを無闇に共有することは避ける。
- ・管理者や設備（PC やインターネット回線関係）の維持は、各単位 PTA ごとの状況に応じて検討が必要。

○意見交換/質疑応答

- ・なぜ Band？LINE ワークスの利用は検討しなかったか？

>LINE ワークスは、無料利用時のデータ容量の制限が気になった。また普段使いに LINE を使用しているがこうしたツールの利用が得意でない人たちに明確な使い分けをしてもらう意味もあった。

- ・Wi-Fi 導入はどのように？

>当初は PTA 独自で契約の予定で予算も組んだが、令和 4 年になって、区からスクールカウンセラーが利用する為の回線が学校へ提供され、これを PTA でも利用して良いとの情報を得た。学校側と協議し、当該回線の PTA 活動での利用に了承を得られたため、現在、独自回線契約は保留中となっている。

- ・諸々導入初期の様子はどうだったか

>最初は戸惑いのある役員も多かったが、やはり使い始めればある程度は慣れてくる。得意な人が

サポートして一度やり方を覚えてしまえば、あとはスムーズに進んだように感じている。スタートさせるのが最も大変だが、コストカットなど具体的で目を引くメリットを押し出して乗り切った。

- ・導入したものを維持できるよう、継代を意識した体制作りを目指して今後も頑張ります！

以上、ありがとうございました。

第 2 ブ ロ ッ ク

宮 城 小 学 校
扇 小 学 校
江 北 小 学 校

令和4年度 足立区小学校PTA 連合 第2ブロック研修会 報告

1. 研修の目的

昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、各校が例年通りに活動できていない中、研修会の中止も検討したが、3校が集まって研修することで、今後のヒントを得られればと考え、開催に踏み切った。今できることから少しずつ取り組むこととし、出席者を限定して開催することとした。

全国の小児病棟を訪ね、闘病中の子どもたちを楽しませる「ホスピタル・クラウン」の活動を続ける大棟耕介さんを講師に迎え、「大人が変われば子どもも変わる」という、気付きと勇気をもらえる講演づくりを目指した。

2. 開催概要

【テーマ】自粛の中でのPTA ～今何ができるか～

【副題】大人が笑えば子どもは笑う

【講師】NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会 理事長 大棟 耕介氏

【日時】令和4年9月3日（土）14時～15時30分

【会場】扇小学校（担当校）

【出席者】第2ブロック3校 校長・副校長・PTA 会長・副会長

3. 研修内容

◆ホスピタル・クラウンについて

病院などで心のケアをする道化師のこと。

普段、サーカスや遊園地などでパフォーマンスをするクラウン（道化師）が、病院で入院中の子どもたちにパフォーマンスをする活動に、2004年から取り組んでいる。

活動場所は、主に子どもたちが入院している小児病棟。真っ白な壁、限られた人間関係の中で入院生活を送る子どもたちは、元々もっていた子どもらしさを失ってしまうことも。入院している子どもはもちろん、そのご家族にも笑顔が届けるお手伝いをしている、それがホスピタル・クラウンである。

病院を訪問すると、お母さんがよく「自分の子がこんなに笑うってこと、忘れていました」と言われる。病院にいるお母さんたちは、疲れている。子どもに対する罪悪感や不安で心は沈み、閉鎖された病院という場所での看病が続き、体も休まることがない。そんな中、子どもはお母さんの気持ちを敏感に感じ取ってしまう。お母さんが笑えば、子どもも安心して笑える環境になる。

《大棟氏が報道ステーションの密着取材を受けた映像のDVDを上映》

◆コミュニケーションの方法

(1) 相手を徹底的に観察する

今どんな気分なのか？興味を持ってよく見る

(2) テンションを合わせる

教師と生徒・親と子のベクトルがあっていることが大切。自分と相手と同じ方向を向いて一緒に取り組むこと。

(3) 大げさなリアクションをする

コーチングがコミュニケーションの基本。アクションに対するリアクションは大げさすぎるほどでいい。

◆「おとうさん」「おかあさん」

PTA という素晴らしい志をもった集まりである皆さんも、ご家庭ではそれぞれ「おとうさん」「おかあさん」。

「おかあさん」の語源は、太陽の擬態語である「かか」に「さま」をつけて「かかさま」と呼び、それが「おかあさん」になった。つまり、母親は太陽である。「おとうさん」の語源は、「とと」＝「尊い」。妻であり、子どもにとっては母である太陽を養い守り、大切にしてくれる尊い人という意味。

日本人は、常に温かく輝き、豊かな恵みを与えてくれる太陽を崇めるとともに、家庭の中の太陽である妻や母親を大切にしていた。

社会に出れば色々な役割があり、役柄を演じなければならない。使命ととらえると重荷になるが、その変化をどう楽しみ、どう演じようかという発想でいい。逆に、内面からマインドを変えようと思うと時間がかかるし、変えられない自分が出てくる。「いまはこの役割を演じている」と思うと気が楽になる。演じることで、あとから内面も伴っていく。

4. 当日の様子



◆開催後のアンケート（匿名・一部抜粋）

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(貴重なお話を聞くことができて、とても勉強になりました)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(空気を交えるという言葉は印象に残っています)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(今回ような親子についての内容は、とても興味があります)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(楽しかったし、とても勉強になりました)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(ひきのコミュニケーション)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(夢の持ち寄り、キャリアトーク)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(楽しいお話を聴きました)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(リアクションがなくても相手の心には伝わっていること、大切にしたいです)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(親子で体験活動のお話を聞きたいです)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(参加者が多くてとても楽しかったです。今後の参考にさせていただきます)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(父親としての役割と責任について、やり取りが上手です)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(児童心理学について)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(とてもためになり、自分の明日からの考えが明確になるような資料が豊富でした。勉強になりました)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(相対的・相対的理論の相対性、自分の声をかけられること、伝わりやすさ、とても心に響きました)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(子供心理学、発達心理学、大相対性理論、お話を聞きたいです)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(出席できて、本当に良かったです)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(「母は太陽である」心の大切さ)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(子供の教育に役立ちます)

本日はありがとうございました。
ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(とても楽しく、勉強になりました)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(親子のコミュニケーションの大切さ、お互いに尊重し合える関係が大切だと思います)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(子供心理学、発達心理学)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(今年も参加した研修会が一番楽しかったです)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(仕事と子育てとを両立させる方法、毎朝3時のアテンション、声かけ、意識が大切、がんばりたいです)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(開いてお話しできる機会)

ご協力ありがとうございました。

令和4年度足立区小学校PTA連合会
令和4年度年9月3日(土)
第2ブロック研修会 アンケート

恐れ入りますが、今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

① 本日の研修会に参加して、いかがでしたか。
(とても楽しかったです)

② 本日、参加されてあなたが一番心に残ったことは何ですか。
(親子、先生と親とベトナムを合せるお話)

③ 次回参加するならば、どんな内容の研修会がいいですか。
(子供の教育に関する研修会)

ご協力ありがとうございました。

第 3 ブ ロ ッ ク

寺 地 小 学 校
本 木 小 学 校
興 本 扇 学 園
興 本 小 学 校
西 新 井 小 学 校
西 新 井 第 一 小 学 校

令和4年度 足立区立小学校 PTA 連合会第3ブロック研修会 報告書			
報 告	興本扇学園 PTA	報告日	令和5年3月29日
実施日	令和4年11月1日～12月31日		
テーマ	子供たちの地域での安全・安心		
<p>【目的】 学区内の危険箇所等を PTA 役員内で話し合うとともに、ブロック内で当該箇所に関する情報を共有することで、広範囲における子供たちの安全・安心の向上を図る。</p> <p>【方法】 以下の方法により、学区域内の危険箇所を把握する。</p> <p>(1) 各校 PTA において、令和3年度に作成した学区域内の防犯マップを基に更新箇所の有無を確認。</p> <p>(2) 確認の際は、必要に応じてこれまでの A メールなどの情報も参考にする。</p> <p>(3) 各校 PTA 役員等が出し合う情報は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①暗がり（街灯がなく暗い、一人歩きに不安） ②不審者（痴漢や声掛けなどの事件があった） ③たむろ（中高生がたむろしている） ④防犯カメラ設置箇所（町会・自治会や学校が設置している） <p>【防犯マップの共有】 各校で更新した防犯マップをブロック内で共有。学区域を超えた広範囲の危険箇所を知り、子供たちの見守り活動等に生かす。</p> <p>【実施報告】</p> <p>(1) 昨年度作成した防犯マップの更新を通じて、危険箇所を再認識できた。</p> <p>(2) 他校の情報を集約することで、学区域以外の地域の危険箇所などを知ることができた。子供たちは習い事等で学区域外も行動範囲となっているため、有用な情報であると認識した。</p> <p>(3) 防犯マップの活用について会長間での意見交換・危険箇所を可視化したことで、危険箇所に応じた効果的な対策が検討可能となった。</p> <p>(4) 町会等に情報提供することで、危険箇所への見守りの目を増やすことができると感じた。保護者や地域の大人が「ながら見守り」をブロックで行うことで、広範囲の子供たちの安全・安心を確保できると感じた。</p> <p>(5) 継続することで、次年度以降の PTA 活動にも生かしていくことができる。</p>			

【まとめ】 第3ブロック長 西新井小 PTA 会長

コロナ禍での制約が徐々に緩和し、社会経済活動が正常化に向かう中、児童の行動範囲も広がることが見込まれる。

そのような中、学区域内に留まらない広範囲の防犯マップ作成は、習い事等で広範囲の移動を余儀なくされる児童・保護者の安全確保にとって有用であるだけでなく、共有範囲を広げることで、大勢の見守りの目で広範囲の子供たちの安全・安心を確保していくことが可能となるという気づきを得た。次年度のブロック活動や単位 PTA の活動に活かしていくことができる、大変有意義な研修であった。

第 4 ブ ロ ッ ク

梅 島 小 学 校
梅 島 第 一 小 学 校
梅 島 第 二 小 学 校
亀 田 小 学 校
関 原 小 学 校
栗 原 小 学 校
島 根 小 学 校

◆ 議 事 録 ◆

記録者： 関原小学校

会 議 名		第4ブロック意見交換会										
日時・場所		2023年 02月 25日 (土) 14:00~16:00 関原小学校 集いの部屋										
参加者 (敬称略) 計 17 名	梅島小学校	会長	副会長	会計							3 名	
	梅島第一小学校	会長	副会長	副会長							3 名	
	梅島第二小学校	会長	副会長	副会長	書記						4 名	
	亀田小学校	会長	副会長								2 名	
	関原小学校	会長									1 名	
	栗原小学校	会長	副会長								2 名	
	島根小学校	会長	副会長								2 名	
項目	発表者	内 容										
1 今年度PTAで 行った取り組み、 行事などの報告	亀田	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナを機にIT化を進めた。(IT化についての資料配布。) ・「卒業対策委員会」は先生が主体でやっている。その時の6年生の保護者が中心となり運営。 										
	梅島	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ自粛で「やれること」と「やれないこと」を判断。なるべく「やれること」を始めてゆきたい。 ・「卒業対策委員会」は学校が主体で運営。謝恩会、感謝の会、写真等も先生が主体で動く。卒業アルバム資金だけPTAが仲介。 										
	梅島一	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと行事が少なかったが、再開できることは再開し始めた。 ・学年行事について。以前は土曜授業の中に組み込んでいたが、授業時間捻出の為に学校から削減を勧められている。各校の対応状況は？ 【梅島】 給食試食会等の学年行事は中止しているが、見守り活動や、遠足・社会科見学の学校周辺での引率等は担っている。 【栗原】 子どもと親が一緒にできる行事がしたいと企画。ミニ運動会(バレー、野球教室、逃走中)を実施。 【島根】 来年度から学年行事を辞める方向。 【梅二】 学年委員は組織しているが活動休止中。ただ、活動再開は希望している。 【関原】 5年前から学校からやめてほしいと言われる(授業時間確保の為) 										
	栗原	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年学校行事ができなかったが、学校創立80周年をきっかけにして、学校が行うものに沿う形で行事を開催した。 ・「みまもり活動」は保護者の負担がない程度に実施。 ・夏祭りは今年度も中止した。 ・「卒業対策委員会」はPTAと別組織で運営。、 毎年6学年担任が組織の設立を判断しているが、PTAの委員決めまでにきまらないのでPTAのでまかっていた。 今年度は6学年の中で役員を選出したがほとんど活動はない。 ・PTA会費が余ったので、6年生に文房具を配布して還元した。 【梅二】 創立80周年記念の記念品は？ 児童向けにはエマーゼンシーボトルとお菓子。Tシャツを販売。、デザインを実行委員会設立前に募集をして投票で決定。 【梅島】 再来年度創立135周年でTシャツを販売したいが、学校に現金持ち込みがNG。栗原小の対応方法は？ ⇒ 集金日を決め、PTAがまとめて集金。 										
	島根	<ul style="list-style-type: none"> ・活動としては「運動会」と「持久走記録会」の手伝い。 										
	関原	<ul style="list-style-type: none"> ・創立90周年行事を実施。次回創立100周年にむけての「クラウドファンディング」で資金集めを試みる。 ・各委員会を廃止し、新たに「実行委員会」を設立。同時に「ボランティア制度」を導入。 【島根】 各運営委員会を廃止することで規約をどの様に変更しましたか？ ⇒ 各方針や政策は「執行部が決定する」としました。 										
	2 PTAが抱えている 課題、問題点。	梅二	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度のPTA総会対応を聞きたい。 【亀田】 総会はオンラインで実施。承認もオンラインで完結。児童数が多い為、反対意見必ず出るが、過半数以上でなければ対応はしない。 【梅島】 ここ数年は書面決議で実施。 【栗原】 来年度は総会を開く予定。コロナ禍では書面決議だったが、集まって意見交換をしたいとの希望者が委員の中でも多い。 【島根】 去年、おとしもPTA総会を開いていた。 【梅一】 コロナ禍では書面総会にて決議。今年は会長交代もあり実施を検討。 【関原】 来年度は数年ぶりに総会を開催したいが、書面決議でもいいのでは？ 									
		栗原	<ul style="list-style-type: none"> ・「決まっていること」は変えることが出来ないと思っている人が多い。 									
		島根	<ul style="list-style-type: none"> ・各運営委員会の廃止について反対意見が多い。「卒対」をやりたくない為に運営委員を事前に請け負う保護者が多い。 ・規約を変更する為に臨時総会を開きたかったが、運営委員会の採決で過半数をもらえないと臨時総会が開催できなかった。⇒「委任状」で対応。 【梅島】 運営委員をなくすともども執行部員に入る人が居なくなる心配はないのか？ ⇒ そうであれば、そもそもPTA自体が要らないとの判断。 ・「こども110番」の対応方法を聞きたい。 【島根】 「開かれ」が主体で動いている。「開かれ」の会合の際に継続のお願いをする。 【関原】 「見守り110番」の掲示をしてもらっている家庭や店舗の調査と把握のみ。 【栗原】 ⇒ 区役所管轄の「みまもり110番」と警察管轄「こども110番」の役割がちがう。 									
		関原	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、行事が復活した際の人員確保等を含め、「実行委員会」の運営方法、「ボランティア」の集め方。 ・ここ数年の自粛によって、本来あるべきPTAの姿や役割が分からなくなりつつある。 									

3	今後に向けて	亀田	<ul style="list-style-type: none"> 来年度体制を変える予定。各委員会を廃止。会長、副会長、会計、書記の役職も設定しない。(会長は代表者との位置付け) 委員会の代わりにボランティアで対応。学校からの要請があっても出来ない行事対応は断る。 卒対も別組織で運営。活動の有無や内容も6学年の判断で決める。
	取り組んで		
	いることや、		
	取り組みたいと		【梅二 広報誌作成は? ⇒ 広報誌は本部役員で対応。来年度はアプリにて展開にかえる。
	考えていること。		パトロールは? ⇒ 通勤や帰宅途中での保護者からの呼びかけ活動で対応したい。(ながらパトロール)
		栗原	<ul style="list-style-type: none"> インターネット環境はあるが、今後の具体的な運用方法対応を模索中。 会費3,500円(1世帯)の値下げを検討。他校の状況は?
			【亀田】 2,400円 【関原】 2,000円(児童1人当り) 【島根】 2,300円(1世帯当り)
		島根	<ul style="list-style-type: none"> 来年度から各運営委員会を廃止し、ボランティア制度に移行を検討。 損得では無く、やりたい人がやる方向で運営していきたいと考えている。 ボランティア制を導入すると書記等の仕事が増える可能性があり、IT化は進めていきたい。 PTAの業務はできるだけ簡素化し、子ども達へ時間と労力を使いたい。 「開かれ」の行事をボランティアを募り運営してみたが、以外に上手くいき手こたえがあった。 PTA会費を集金から「引き落とし」にしたいが?各校の集金方法は?
			【梅二】 給食費と同じ口座から引き落とし。
			【亀田】 口座引落とし。二回引き落とせない場合はメールで通知。
		関原	<ul style="list-style-type: none"> PTAの活動内容をより多くの人に知ってもらう為のPR活動。 強制ではなく、保護者が進んで活動に参加してもらえるような仕組みづくり。
4	自由討議	梅島	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開の際、PTAの立ち合いはしているか?
			【梅島】 PTAの立ち合い有り。
			【梅一】 PTAの立ち合い有り。
			【梅二】 PTAの立ち合い有り。
			【亀田】 PTAの立ち合い有り。
			【栗原】 PTAの立ち合い有り。
			【島根】 立ち合い無し。
			【関原】 立ち合い無したが、PTAの取り組みをアピールする意味では立ち会う意味はあると思う。
		梅二	<ul style="list-style-type: none"> PTA役員決めの方法を教えて欲しい。
			【梅島】 メールで事前に伺う。
			【梅一】 役員は事前にアンケートとり、説明会であたりをつけ声掛け。運営委員は保護者会で決定。
			【亀田】 メールでフォームを提示しアンケートをとる。「やってもいい」というひとへはメールで個別対応。
			【栗原】
			【島根】 入学時に「何年次にやりたいか」を事前に調査。も決める。
			クラス替えがない学年は3月、クラス替えのある学年は4月の保護者会で決める。
			5年生の保護者会では卒対も含めて6年時の各委員も決めてしまう。
			【関原】 年度初めの保護者会で決める。
		島根	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール、ソフトボールの会計方法は?
			【梅二】 年度ごとに余剰金を回収して精算している。
			【栗原】 各部それぞれ年間40,000円を交付。予算はそれぞれの部にて管理してもらっている。
			【関原】 PTAからの補助金は年額30,000円。余剰金は「ユニフォーム積立金」として計上。
			<ul style="list-style-type: none"> PTA会費の集金方法は?
			【梅二】 学校給食費からPTA会費を差っ引いて引き落としが可能。(成和信金)
			【島根】 学校給食費と同じ口座を利用。
			【関原】 今年度から「銀行振り込み」に変更。
		関原	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運用方法を教えて欲しい。
			独自サイトを設定 ⇒ 【梅島】 【亀田】
			学校HPを間借り ⇒ 【関原】 【島根】
			無し ⇒ 【梅一】 【梅二】 【栗原】

第 5 ブ ロ ッ ク

足 立 小 学 校
弥 生 小 学 校
弘 道 小 学 校
弘 道 第 一 小 学 校

令和4年度 足立区立小学校PTA連合会

第5ブロック研修会議事録

- 【日時】 令和4年7月9日（土）14時より
- 【会場】 足立区立弘道小学校 1階多目的室
- 【研修主題】 「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」
- 【副題】 「PTA活動を効率化するために」
- 【参加者】 各校PTA役員 計25名

【目的】

「研修会」を通して情報交換や勉強会を行い、PTA活動における課題の解決や活動についての理解を深める。

【研修内容】

「PTA活動を効率化するために」をテーマに、ICTを活用したPTA活動について、事前に収集した各校のアンケート結果を元に質問や意見を出し合う全体会での意見交換会を行うこととした。

【各校での取り組み】

《弘道小学校》

- ・役員間での連絡にSNS（LINE等）を使用している
- ・7月より試験的に学校代表メールを利用した文書確認の実施を開始
→文書依頼用のテンプレートを共有することで、学校にも確認がしやすいように工夫
- ・7月より学校HPを活発に利用するように活動中

《弘道第一小学校》

- ・2年前から文書確認をデータ化し、学校代表メールを利用して各委員会が行っている
- ・広報紙の出来あがったデータ（PDF）にして確認している
- ・「こども110番」の継続確認等の郵送をするのにラベルシールの印刷を学校側に依頼して作成（学校側がデータを持っているため、シールシートのみ学校に渡している）
- ・PTAからのお知らせを学校メールで流してもらっている

《足立小学校》

- ・広報紙などの文書等を一部メールにてやり取りを実施中
→他の文書確認もメールにて実施したいと学校側には伝えているが、現在返答待ち
- ・PTA活動で出た領収書の管理を「Google スプレッドシート」を使用して支出の目的や残高の確認を役員全体で共有、把握が出来るようにしている

- ・「こども110番」の継続確認は郵送で行い、はがきの宛名は専用のPCソフトで管理と印刷を行っている
- ・PTA役員の仕事内容の引き継ぎや会議の確認に使用できるよう、PTA専用WEBページの作成も視野に行動を開始している

《弥生小学校》

- ・学校HPにPTA活動の欄を作成。PTA活動の中に各委員会ごとの欄を設け、お知らせ等を見れるように貼り付けていつでも確認、見返しが出来るようにした
- 但し個人名が出るものは紙で配布している
- HPにアップした等の連絡は学校メールにて保護者にお知らせをしている
- ・広報紙を作成するのに役員間でのやりとりを「Google ドライブ」を使用して行っている
- 印刷会社へのデータ入稿もそのまま出来てスムーズだった

【今後の取り組みと課題】

- ・各校スクールカウンセラーが使用しているWi-Fiを、学校と協議してスクールカウンセラーが使用していない時間のみ貸与出来るように準備を進めていく
- ・個人情報の取り扱いとPC環境のセキュリティー面において今後一層の注意が必要となってくる
- ・LINEやQRコード等の機能が使えない人をフォローしていく配慮が必要になってくる
- ・学校HPのPTAページにお知らせ、データの掲載をするにも時間が掛ってしまうため、効率よくスムーズにアップ出来るような流れを模索中
- ・業務効率化の為に様々なアプリ、ツールを使用するとかえって確認業務が増える場合がある為必要以上に増やしすぎない等の注意が必要
- ・子供の為にICTをどう活用していけるかが課題となる（学校に行けなくてもコミュニケーションを取れるツールとなると良い）
- ・ARやメタバース等の最新のデジタル機能を使用した、子供達にも親しんでもらえる企画も今後出来ると良い
- ・ICTを使用してPTA活動の手間や負担が減らせるように進めていき、子供たちとの触れ合いの時間をもっと増やせるようにしていくべき
- ・学校側との会話による直接的なやり取りも大切なコミュニケーションとなるので、ICT化が進む中でも全てをデジタル化するのではなく、用途に応じて対応していく必要がある

第 6 ブ ロ ッ ク

綾 瀬 小 学 校
東 綾 瀬 小 学 校
東 加 平 小 学 校
東 湊 江 小 学 校
北 三 谷 小 学 校
大 谷 田 小 学 校
長 門 小 学 校

第6ブロック研修会報告

●開催概要

1. 日 時 令和4年7月2日（土）14時～16時
2. 会 場 足立区立北三谷小学校 体育館
3. 出席者 6ブロック各校 学校長、PTA 会長、PTA 役員 45名
4. テーマ 小P連研修主題「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」
第1部 講演会「テキストコミュニケーションのノウハウについて」
第2部 意見交換会「今だからこそ辞めた事と始めた事」

●研修内容

第1部 講演会「テキストコミュニケーションのノウハウについて」

講師 株式会社ニット 山口 正太 氏

コロナ禍でPTA活動も従来の対面型からオンラインを主軸にした方法に移行せざるを得ない状況となり、メールやラインなどでのテキストでのやり取りが増加。その中で「本来の意図とは異なる形で相手に伝わってしまった」、「字面だけではうまくニュアンスが伝えきれない」など、テキストコミュニケーションを行う上での新たな課題も見えてきた。

今回は、創業以来フルリモートで事業を行う株式会社ニット様に、テキストコミュニケーションのノウハウについての講演を行っていただいた。

まず、その場に適したコミュニケーション方法をとることを目的にして、「チャット、メール」「電話」「テレビ会議」「対面」の使い分けを考えた。

ケース	望ましい方法	お勧めしない方法	
複数人で打ち合わせをする	対面、テレビ会議	チャット、メール	1対1のやり取りでは意見をまとめづらい。 3ラリー以上のやりとりが必要でオープンクエストのもの話した方が早い。
クレームに対して正式な謝罪をする	対面	チャット、メール	感情を伝えるのが大事な場面では、より多くの情報が伝わる方法が望ましい。
トラブル発生時上司へ緊急の連絡をとる	電話、チャット		上司がどこにいるかわからないが、緊急性を求められる状況の場合は、電話とチャットを組み合わせると連絡がとりやすい。

人と人がコミュニケーションを図る際、言語情報（Verbal）が占める割合は7%、声のトーンや口調など聴覚情報（Vocal）は38%、ボディーランゲージなど視覚情報（Visual）は55%の割合で情報を伝える、とされる（「メラビアンの法則」または「7-38-55の法則」「3Vの法則」）。これにより言語情報のみでは不安や誤解が生まれやすいことがわかった。

続いて実践ワークとして、上司と部下のチャットのやりとりの例を見ながら、テキストコミュニケーションにおける注意点や工夫について学んだ。

文字情報のみで伝える場合は、「相手を不快にさせない」「相手や状況によって変化させる」ことを

意識しながら、次のような工夫をするとよいとのことだった。

- ・語尾に一言、感謝の言葉を追加する
- ・ポジティブな事を先に、ネガティブなことは後に伝える
- ・ネガティブな事はやんわりと伝える
- ・リアクション（絵文字、スタンプ）で感情を伝える

第2部 意見交換会 テーマ「今だからこそ辞めた事と始めた事」

昨年のブロック研修の内容も踏まえつつ、更に具体的な内容に踏み込み、実際にこの1年またはコロナ禍以降、各校でどのような活動の見直しをされてきたかを事前にアンケートを行い、その結果について共有した。各校に実施したアンケート内容と結果については別紙資料を参照されたい。

- ・最初に北三谷小学校 PTA で導入したオンラインツール「BAND」によるペーパーレス化などの事例紹介をした。続く質疑応答では、次のような質問が取り上げられた。
- ・新規イベントについて
- ・総会決議をオンラインで行うことについて
- ・PTA への入退会の自由について
- ・イベントへの保護者のお手伝い募集について

●研修報告

各校からの研修後のアンケートを以下に報告する。

【第1部講演会の感想】

- ・PTA 内など、ある程度内容がわかっている相手にテキストでコミュニケーションを取る際、比較的相手が内容についてわかっているだろうという気持ちでコミュニケーションを取りがちです。相手の立場に立った時に、その内容では意味が分からなかったり、全く別の内容と取られる事があったりするという点から、改めて相手の立場に立って物事を考えるという良い機会になりました。（綾瀬小学校）
- ・テーマ選定も良く、テキストコミュニケーションに関し改めて気づかされるが多かったです。
- ・PTA 活動全般にも、普段の生活にも、役に立つと感じられました。講演会の企画、有難うございました。（大谷田小学校）
- ・PTA 活動をする中で、LINE を使用して連絡を取ることが多いので、伝え方が大事だと言う事がとても勉強になりました。（長門小学校）
- ・受取手のペースをもう少し確認しながら進めていった方が良い。
- ・なかなか集まって打ち合わせをする機会が作れない現状において、リモートでのコミュニケーションの取り方の参考になった。（東綾瀬小学校）
- ・何気なく使っているメールやLINE、PTA でもテキストでのやり取りが多いのですが、人に教わったり意見を交換することはないので、とても勉強になりました。

- ・ワークシートや解説も分かりやすく今後の PTA 活動に活かしていきたいと思います。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。（東加平小学校）
- ・文章でコミュニケーションをとるときは、今日学んだことを活かしていきたいと思います。（東湊江小学校）

【第2部意見交換会の感想】

- ・研修会の中でも話を聞かせていただきましたが、PTA 入会に対するメリットをどのようにしているのか、強制感の無さをどう作るのかが、今後 PTA 活動をしていく上で重要なのかなと思いました。
- ・綾瀬小では、メリットが薄いので、本部の方でも色々と試行錯誤しているというのが現実です。また、強制感を無くすために、6年に1回理事をやらなければならない、クラスから1人以上理事を保護者会で選出するという暗黙のルールがありましたが、それらもやめて全会員からの立候補にしてみました。こちらは思ったよりうまくいっている感じはあります。もう少し近隣校での入会時のメリットや活動参加への強制感についての考え方の話を伺いたかったなと思いました。（綾瀬小学校）
- ・PTA 会長以外の役員が直接、他校の活動について質問したり話を聞いたりする機会は、限られているので、役員からは、他校の様子がとても参考になったとの意見が多かったです。また事前の資料の取り纏め等、幹事校の皆様大変ありがとうございました。（大谷田小学校）
- ・各学校コロナ禍に対応したイベント等を開催していて、今後の活動の参考になりました。また PTA 加入を選択制度にしている学校のお話がとても興味深かったです（長門小学校）。
- ・各学校で抱えている課題が知れて良かった。（東綾瀬小学校）
- ・同じ様に試行錯誤しながら PTA 活動をされている各校のご意見はとても参考になるものばかりで、昨年のブロック研修会からのコロナ禍による PTA 活動についての活動の見直しやこの一年で得た経験や対策や新しいシステムの導入、良い活動は積極的に本校の PTA でも活動に取り入れていきたいです。（東加平小学校）
- ・PTA の入退会について、色々な御意見があり、PTA のメリットは何かもう一度自分も考えてみたい。（東湊江小学校）

【その他・自由意見】

- ・変化していく生活の中での活動は例年と違った大変さや難しさもありますが、他校との意見や情報を交換することで、より良い活動を目指していく事はとても大切なことだと実感いたしました。学びの多い研修会になりました。
- ・第一部講演会を15分短くして、第二部を15分長くして、半々にして貰えると尚良い。

●研修所感（幹事校：北三谷小学校）

- ・第1部講演会ではテキストコミュニケーションのノウハウについて学んだ。テキストのみでは感情等の伝わり方がとても少ない（対面に比べて7%）ということを知った。PTA 活動においても役員間のやりとりは圧倒的に LINE などのテキストによるものが多い。間違いを指摘したりする時は特に緊張を

していたが、今回学んだ工夫（ポジティブな事を先に、ネガティブなことは後からやんわりと伝える）を取り入れて、円滑なコミュニケーションがとれるようにしていきたい。

- ・コロナ禍による行事中止や行動制限などが続いて、子供たちにとっては非常に残念な時期であったと思う一方で、実際に行事を運営する役員の立場としては「負担がかなり減った」というコメントも多い。逆説的に言えば、もしコロナ禍がなければ、従来通りの行事をこなすので手一杯になり、負担感を感じていても、それらを積極的に見直すまでのきっかけはつかめなかった可能性もあり、コロナ禍は従来までの行事のあり方、運営方法を見直すきっかけになったのも事実かと思う。
- ・行事内容を見直して実施した学校については、コロナ禍が完全に収束したとしても、従来通りの内容に完全に戻すと回答した学校はなかった。コロナによる延期・中止などといった苦渋の経験を経て、弾力的に内容を変更していくという柔軟さが経験則的に備わってきたと思われ、それらがアンケート上でも「今後の状況をみて随時内容を見直していく」という回答につながっていると思われる。
- ・一方で、今まで通りの行事ができないということは、1～2年周期で大体のメンバーが替わるPTAにとっては、イベントの計画・運営のノウハウが継承されないという懸念が生じている。またゼロから企画・準備をするというのも中々ハードルが高く、いわば一旦止まってしまった自転車を再び動かすための最初の重いペダルをこぎ出す時のように相当なパワーが要求され、新たな負担感となる恐れがある。
- ・対面での会議が出来ない事に伴い、オンライン会議・オンライン配信ツールを導入した学校が増えた。ただし、それらの費用については都小P 経由などであれば多少の補助を得られる場合もあるが、基本的にPTA 会費からの持ち出しとなっている。Google Workspace は教員・児童用に区で一括契約をしているはずなので、区が単体PTA にもアカウントを提供すれば、Google Classroom の利用方法を少し発展させることで、各単体PTA が独自にツールを準備しなくてもお知らせのペーパーレス化やオンライン配信は可能になるのではないか？と思う。
- ・各校の取り組みおよびそれらの良かった点、悪かった点を共有することで、各校の状況に応じた無理のないPTA 活動につながることを期待したい。

以上

第 7 ブ ロ ッ ク

中 川 小 学 校

中 川 東 小 学 校

中 川 北 小 学 校

辰 沼 小 学 校

六 木 小 学 校

第7ブロック

『自粛の中でのPTA ～今、何ができるか～』

コロナ禍でどんな活動方法があるのか模索し、共有する。

中川小学校

○活動状況

家庭数 278 世帯

役員構成（4年度）

会 長	不在	校 長	
副 会 長	2名	副 校 長	
書 記	1名	教 員	2名
会 計	1名		
会 計 監 査	2名		合計 10名

○4年度運営

委員会 回数： 3回

運動会 お手伝い： あり

内容： 受付など

各種行事

内容： 60周年

歓送迎会 開催：無

懇親会 開催：無

開かれた学校づくり委員会 開催（回数）：4回

アンケート

1.現状での問題点

本部役員不足

2.コロナ禍での自粛で過去3年間はどうでしたか

特になし

3.今後、自粛明け後のPTAのあり方はどのようになると思いますか

縮小しながらできる範囲のみの活動になると…

4.この一年、自校の良い出来事や活動などありましたら教えてください

特になし

ありがとうございました。

第7ブロック

『自粛の中でのPTA ～今、何ができるか～』

コロナ禍でどんな活動方法があるのか模索し、共有する。

中川東小学校

○活動状況

家庭数

役員構成（4年度）

会 長	1名	校 長	
副 会 長	7名	副 校 長	
書 記	5名	教 員	
(副会長3名兼務)			
会 計	2名		
会 計 監 査	1名	合 計	12名
(副会長1名兼務)			

○4年度運営

運営委員会 回数：無

運動会 お手伝い：執行部役員のみ
内容：会場入り口にて検温及び手指消毒の声かけ、入場
チケットの確認など

各種行事

内容：

【学年・学級委員会】

読み聞かせ：1学年 1回、2学年 3回

こども祭：4学年/5学年/6学年の委員、執行部役員、
開かれた学校づくり協議会

【広報調査委員会】

広報誌：発行回数3回（うち1回は執行部が作成、
残り2回を委員にて作成→撮影全体で2回、全体での
集まり無し）

【成人保険体育委員会】

サタデースクール：2回

【校外生活指導委員会】

交通安全指導：2回

歓送迎会 開催：無
懇親会 開催；無
開かれた学校づくり協議会 開催（回数）：4回

アンケート

1. 現状での問題点

- ・昔ながらのやり方（手紙配布をし会議で集まる等）ができない為、LINE 等を活用し活動してきたが、円滑に回る一方で連絡が取れない保護者には連絡の取りようが無く、活動に入れずに一年が終了するということが起こっている。
- ・PTA に加入しないご家庭にも卒業記念品・行事で配布する品等を配布しているが、PTA 会費からの支出の為本来は配布できないものではないか。他校ではどのように対応しているのか伺い解決策を考えたい。
- ・委員活動自体ができていなかったのが保護者が委員会を理解できていないこと。
- ・保護者が学校行事に参加することが少なかったため、保護者同士の認知不足、コミュニケーション不足がある。
- ・現場での問題点としては、人手が足りず、あれもこれもとやることが多い所と、コロナ禍で通常行っていたイベントなどが全くできず、PTA 活動の内容がうまく引き継いでいないこと。
- ・コロナ禍で様々な行事がなくなり、委員の仕事の把握があまりできていない。また集まる機会もなかったため保護者同士の繋がりがあまりなく、クラスの児童の保護者がどなたなのか知らない方のほうが多い。
- ・コロナ禍で PTA 活動への関心が薄れていて、やらなくても大丈夫と思っている保護者もいる。
- ・校外に関しては、元々人数が多い為活動と人数が合わず、参加した方、していない方ができてしまった。

2. コロナ禍での自粛で過去3年間はどうでしたか

- ・委員を設けずに活動していたため、広報誌の発行は全て執行部で行うことになった。他の活動が無かったため負担が大幅に増えた訳ではないが、状況を見て休刊しても良いのではないかと感じた。
- ・学校との関わりが減ってしまい、先生方の中には顔を合わせることもなく異動された方もいたり、保護者同士の関わりも減り、児童と保護者の顔が繋がらなくなったり、顔と名前が覚えられずの年だった。
- ・委員会活動がなかった分、学年の活動について、学校側からその都度お手伝いの募集があるなど、新たな形でもやっていけるとの気づきもあった。
- ・コロナ禍での3年間は、PTA としての通常の業務はできなかったが、学校から依頼されたこともかなりあり、通常業務とは別のことを行ったりしたので何もしなかった3年間というよりは、

忙しかった3年間、普段と違う経験ができた3年間だと感じている。

- ・ほとんどの行事が中止や縮小となった。

3. 今後、自粛明け後のPTAのあり方はどのようになると思いますか

- ・学校や子供たちのために、保護者同士が協力して無理なく動いていけるような団体でありたい。

- ・自粛中に、やらなくても運営が回るもの、子供たちが楽しみに望んでいるもの、最低限必要不可欠なもの、というのがある程度浮き彫りになったと思う。その中で、従来のやり方を変えたり、縮小したり、淘汰したりして、よりコンパクトな活動になっていくのではと考えている。

- ・コロナ明けのPTAは徐々に元に戻っていく方向ではあると思うが、学校によっては人手が元のように戻らず、引き継ぎもうまくいかず、業務を縮小しながらやっていくことになるのではないかと思う。

- ・だんだんとコロナ禍前のように行事もできることが増えて来ると思うので、保護者の協力が必要となり、それなりの負担も増えるのかな？と思う。

- ・最低限に制限されていた活動を前のように再開したいと思うが、負担が少なく参加しやすいPTA活動を目指すべきだと思う。

4. この一年、自校の良い出来事や活動などありましたら教えてください

- ・今年度は執行部で行事の受付などを行ってきました。学年ごとに入れ替え制にする等、通常とは異なる体制だったが、ほとんどの保護者が協力的だった。

- ・規模は縮小したが、3年ぶりにミニきりり祭（こども祭）を開催することができ、たくさんの子供もが参加してくれて授業参観とは違う子供たちの笑顔を直接見ることができた。また、先生方も参加していただき関わりを持つことができた。

- ・コロナ禍に入ってできなかったPTA活動ですが、この一年内容を縮小しながらも、サタデースクール、ミニきりり祭などができたこと。

- ・制限はあったものの、サタデースクールやミニきりり祭ができたこと。特にきりり祭は多くの子供達楽しかったと喜んでくれていた。

- ・少しずつやれることが増え、きりり祭は縮小だが開催できて、沢山の子どもたちが参加してくれて、6年生たちも本当に楽しそうにしている姿が目で見ることができ嬉しく思った。

ありがとうございました。

第7ブロック

『自粛の中でのPTA ～今、何ができるか～』

コロナ禍でどんな活動方法があるのか模索し、共有する。

中川北小学校

○活動状況

家庭数 293 世帯

役員構成 (4年度)

会 長	1名	校 長	
副 会 長	4名	副 校 長	
書 記	6名	教 員	
会 計	6名		
会 計 監 査	1名	合 計	18名

○4年度運営

委員会 回数： 2回

運動会 お手伝い：あり（受付、外回り）

内容：チケットの受け取り、外回りの張り紙

各種行事

内容：音楽会（受付、入替制の列の整理、入場案内）

歓送迎会 開催：なし

懇親会 開催：なし

開かれた学校づくり委員会 開催（回数）：5回

アンケート

1.現状での問題点

スケジュールの把握がコロナにより、中止等の連続にて、通年とは別日程で予定を立てるのが極めて困難

2.コロナ禍での自粛で過去3年間はどうでしたか

PTA活動が精査・淘汰された。学校側が必要としている提案やお声がけいただくことが多くなった。顔合わせの機会や懇親は少なくなったが、オンラインにより多くの負担は減ったと思います。

3.今後、自粛明け後のPTAのあり方はどのようになると思いますか

オンラインによる効果が大きかったので、オンラインやグーグルフォームを利用して、紙媒体からWebへの移行は変わらず行いたい。

子ども達の行事ができるようになれば、積極的にサポートしたい。

PTA 単体での行事もできる限り実施。

懇親については希望があれば、随時行う予定です。

予期しない事態があっても年度によって変わるため、基本的なところは変更なしだが、話し合いをその年の役員・保護者と行い、理解を得たうえで行う必要がある。

実際は会長・副会長・本部役員を問わず1年に1回のPTA参加にしたい目標があります。ですが、現実は今までの1人2回を変えることは全PTA会員に理解を得ないと難しく、様々な意見を取り入れて変えて行きたい。

色々とりわれず、活動したいPTAをアピールできればと思います。

4.この一年、自校の良い出来事や活動などありましたら教えてください

オリンピック関連で陸上競技場を走れたこと。

十三中のあしの芽祭にて模擬店が大盛況だったこと。

校長先生が課外活動に積極的で、コロナ禍だが学校から積極的に提案実施があった。

Aメールにて不審者情報があった際、校外さんがすぐにパトロールを実施してくれたこと。

ベルマーク活動が、コロナにより活発になった。地域のご協力もあり順調。

高学年のまだPTA活動に参加されていない方（特別委員として活動）たちの活躍の場が多かった（上履き貸出、ベルマーク集計）。

以上

ありがとうございました。

第7ブロック

『自粛の中でのPTA ～今、何ができるか～』

コロナ禍でどんな活動方法があるのか模索し、共有する。

辰沼小学校

○活動状況

家庭数 443 世帯

役員構成（4年度）

会 長	1名	校 長	
副 会 長	7名	副 校 長	
書 記	4名	教 員	
会 計	3名		
会 計 監 査	2名		合計 17名

○4年度運営

委員会 回数： 8回

運動会 お手伝い：あり

内容： 検温、保護者の誘導、見回り

各種行事

内容：子どもまつり、なわとび講習会、漢検

歓送迎会 開催：中止

懇親会 開催；中止

開かれた学校づくり委員会 開催（回数）：

アンケート

1.現状での問題点

人手不足

2.コロナ禍での自粛で過去3年間はどうでしたか

縮小ではあったが、子どもまつりなどの行事はできた。

3.今後、自粛明け後のPTAのあり方はどのようになると思いますか

PTA自体なくてもいいと思う方が増えていく傾向がある。

4.この一年、自校の良い出来事や活動などありましたら教えてください

活動自体困難を極めたが、できる事をできる限りできた事。

ありがとうございました。

第7ブロック

『自粛の中でのPTA ～今、何ができるか～』

コロナ禍でどんな活動方法があるのか模索し、共有する。

六木小学校

○活動状況

家庭数 370 世帯

役員構成（4年度）

会 長	1名	校 長	
副 会 長	2名	副 校 長	
書 記	4名	教 員	
会 計	4名		
会 計 監 査	1名		合計 12名

○4年度運営

委員会 回数： 5回

運動会 お手伝い： なし

内容：

各種行事

内容： 学校主催の受付

歓送迎会 開催：なし

懇親会 開催；なし

開かれた学校づくり委員会 開催（回数）： 4回

アンケート

1.現状での問題点

人手不足（児童、保護者の人数が年々減少している）

コロナにより活動自体、円滑に引き継いでいない

今後どの程度、活動が戻せるのかが見通せない。

この3年で7割以上の保護者が活動に関わっていない。その為PTA自体の存亡に関わる事が懸念される。

2.コロナ禍での自粛で過去3年間はどうでしたか

コロナによりICTを活用した活動が加速し、SDGsの理念などを含めペーパーレスや連絡のあり方が、様変わりしたと感じています。

今後もっと利便性を重視し簡素化していくと感じています。

3.今後、自肅明け後のPTAのあり方はどのようになると思いますか

懸念されることは、PTA活動の引き継ぎが現在難航しており、今後より対人関係のコミュニケーション能力が問われる事例が増えるのではないのでしょうか。

これは児童、保護者のみならず教職員や、果ては地域においても情報交換や共有をしていかなければならないと思います。

理想ではありますが、ワークバランスが男女平等になっていることから、活動自体両親のどちらかが担うのではなく、どちらも参加できる時に参加できる活動を目指していかなければならないと思います。

4.この一年、自校の良い出来事や活動などありましたら教えてください

どのように、児童に対して出来るのか模索する一年だったと思います。

ありがとうございました。

第 8 ブ ロ ッ ク

青 井 小 学 校
加 平 小 学 校
栗 島 小 学 校
東 栗 原 小 学 校
平 野 小 学 校

1. 発表 加平小学校PTA 筆頭副会長

大多数の活動ができており、徐々に以前の活動に戻ってきていると感じる。特に9月以降、保護者が参加できる活動が増えてきた。

今年度大きく変えたのはPTAでGoogleの組織用アカウントを導入したこと。特に便利なのはGoogleForms（アンケートシステム）で、総会議案や各種案内等の回答受付に活用し集計作業の効率が上がった。役員が自宅で作業ができる点でもとても良いと感じる。お祭り準備の際には作業日時を設定し全専門委員90名へFormsで手伝いを募集し、参加者からは気軽に応募しやすいという意見をいただいた。

Formsは学校が昨年度から家庭に向けて使い始めていたのでPTAでもスムーズに導入できたと思う。今後については、情報の発信からデジタル化できれば更に作業の効率が図れると感じており、会員へメール等で発信ができないか、個人情報の観点からも慎重に検討したい。

2. 各校の活動内容・状況・課題

【活動の工夫】

- ・運営委員会を土曜授業の日に開催（栗島・東栗原・平野・加平）
- ・LINEの活用（東栗原・平野・加平）
- ・「調整さん」を活用し参加人数が多い日に活動を設定（青井）
- ・顔を合わせたい際には「Zoom」も活用（平野）
- ・常任委員会の開催をやめ、必要な時に随時開催（平野・青井）
- ・PTA便りの廃止（必要な時にお便り配布）、ペーパーレス化アンケート実施（GoogleDriveと紙面にて報告）（平野）
- ・保護者間の結びつき強化の為に親子参加イベントの計画（青井）
- ・配布物の学校への確認でプラスメッセージ、メールを活用（東栗原）

【状況】

- ・PTAの設備が古く使いづらい。作業効率化の為に環境を整えたい（栗島）
- ・行事等が予定通りにいかず、先が見えない（東栗原）
- ・ペーパーレス化に取り組むたいが詳しい人がおらず進まない。（青井）
- ・対面の総会、歓送迎会の中止により活動の負担軽減、書面総会にしたことで活動開始したばかりの専門委員への引継ぎ対応の余裕ができた（東栗原）
- ・学校外や休日の活動の人員が確保できない（加平）

【課題】

- ・保護者同志の関わりの減少で、もともと難しい委員の選考が更に難しくなっている。実際に関わりを持ち、活動の中身を知ってもらうこと、また、その機会を作り、（親子イベントなど）参加してもらい、興味を持ってもらうこと、保護者同志の結びつきの強化を図ることが課題（各校共通）。

3. 主な討議内容

- ・デジタル化について
 - ①ツールの各校の使用方法など。活用できるツールは様々あるが無料版は個人情報漏洩等の心配がありPTAは公的活動に近いので小P連のものを使うのが理想。令和5年度から導入予定の学校-家庭間の連絡ツール「C4th Home&School」については利便性が期待され、PTAとしても利活用できるよう提言していきたいとの意見があった。
 - ②Wi-Fi環境をどうしているか。情報共有 ③ペーパーレス化についてどのようにしているか
- ・役員選考について 方法、説明会の有無等

4. 助言者のまとめ 加平小学校校長

各学校の取組み、悩み、大変参考になった。コロナ禍でどう持続可能な組織として続けていくかという時にデジタル化はとても良い。先日も本校でGoogleFormsによりイベントの参加・不参加をとったところ、翌日には自分の手元に集計が来ていた。

情報として、PTA活動でもデジタル化の導入で事務作業が減り、作業の改善を図れたことが実証されている。アナウンスしていくことがとても大事だと感じる。

PTAでのデジタル化は、進めていくと同時に個人情報等を気持ちの部分でなく組織として管理していかなければならない。良いものが悪いものにならないよう取り扱いについての対応が必要。どの学校も悩みの種は今後の引継ぎになるが、その部分は知恵を絞りあってやっていくことかと思う。学校は、学校教育として何ができるのかを考え学校改革をしている。

PTA活動もしっかりそれぞれの取組みの中身を見て、そもそもの目的に反しないで済むのであれば、なくしてもかまわない。何でもデジタル化すると対面がなくなるが、人と人との関わりは、コロナ禍の中でもあるべきだと思う。今はその使い分け、新しい枠組みを考えるととてもいいチャンス。引き続き同じブロックで共有しながら一緒にやっていけば良いのではないかと感じる。

第8ブロック研修会 第二分科会（成人）

日時：令和4年11月23日 場所：加平小学校

テーマ：「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」：参加者：16名

1. 発表 青井小学校PTA 成人担当副会長

- ・青井小は創立50周年ということで、今年は式典に向けた活動をしている。
- ・年間活動としては資料の通りで、主なものはエコキャップ回収、あいさつ運動などを行った。
- ・給食試食会は、実施に向けて栄養士さんと打合せをしたが、コロナの影響で実施できなかった。給食に関する会議に出席した際、足立区では給食をとっても重要視していて、アレルギー対策含めいろいろな工夫をされていることがわかった。給食試食会は、保護者にそういった事を知ってもらう機会でもあるので、開催できず残念。
- ・役員、委員の入替わりと、ここ数年コロナ禍で例年通りの活動ができない状況が続いており、役員・委員ともに手探りで動いている状況。コロナ禍前のやり方に戻して活動できるようにしていきたいが、引継ぎや過去の資料が十分でなく、引継ぎのための資料やマニュアルが重要だと感じた。やった活動の事だけでなく、やらなかった事について、理由や検討の経緯も記録しておいたほうが良いと感じた。

〈他校に聞きたいこと〉

- ・エコキャップ回収時、手紙での案内だけでなく、LINE等でクラスの保護者に呼びかけたところ、協力してくれる方が増えた。行事の参加率をあげる、保護者の協力を仰ぐためにどんな事をやっているか？
- ・成人でどのような活動を行っているか、スポーツ行事などを含めるべきか？

2. 各校の活動内容・状況・課題

【加平小学校】

- ・給食試食会を11月に実施した。コロナ対策のため学校と協議を重ね、子供同様に黙食をすることをルールとし開催した。栄養士さんがランチョンマットを兼ねた資料を用意してくれ、説明をしてくれたことで献立の工夫などが伝わり、保護者に学校給食への理解を高めてもらうことができた。

〈苦労していること〉

- ・ペーパーレスを推進したいが、まだまだ難しいと感じている。

PTA行事の参加申込などに、Google Formsを活用し始めるなどICTを取り入れたいが、委員の中でもスキルがある人や仕事を把握している人に作業が偏ってしまっている。

〈他校に聞きたいこと〉

- ・感染防止をしながらどのような活動を行っているか？
- ・オンライン講習を行った学校はあるか？その場合に困ったことはあるか？
- ・PTA独自のホームページはあるか？ 他、資料に記載の通り

【栗島小学校】

- ・いろいろな行事が中止となったが、12月のマロンフェスタは実施予定で準備に取り組んでいる
〈苦勞していること〉
- ・顔を合わせる機会が少なく、LINE等でのやり取りが多い。集まらなくても意見交換ができる点はよいが、文章でのやり取りだと、相手にきつく伝わったりしてしまったり、意図がうまく伝わらなかったりする。
〈他校に聞きたいこと〉
- ・ビーチ大会の開催など、集まったりすることに反対意見はあったか？反対意見に対しどのように対応しているか？
→コロナ禍で子供の行事が中止になっているのにやる必要あるか？等の意見があった

【東栗原小学校】

- ・各委員会、各種スポーツ大会への参加、ひがくりっ子まつりを開催した
〈苦勞していること〉
- ・仕事・家庭の都合で参加率が低い人に対し、どうやって参加を促すことができるか
- ・LINE等でのやり取りは委員長からの一方通行になりがちで、なかなか他の委員から返信をもらえないこともある
- ・三役以外の委員にどこまで協力してもらおうか
- ・未就学児のいる家庭は夜間の集まりへの参加が難しく、負担が大きい
〈他校に聞きたいこと〉
- ・委員の参加率をあげるために工夫していること
- ・上記苦勞している点について

【平野小学校】

- 〈苦勞していること〉
- ・コロナ禍の中、給食レシピ集づくりなど、集まらなくてもできることを考えて活動している
- ・スポーツ部員の募集
〈他校に聞きたいこと〉
- ・コロナ禍でできる活動、できた活動はどんなものがあるか？
- ・PTAスポーツ募集の方法
- ・スマホやPCを持っていることを前提に活動しているか？また、持っていない方へのフォローはどうしているか？

3. 主な討議内容

■ペーパーレス化、ICT化の推進について

- ・LINE、Google等の利用や、オンラインでのコミュニケーションで苦勞している点、工夫している点

はどんなことがあるか？

└ イベントの参加募集に Google Forms を使った

└ 良かった点は、作業の効率化を図れたところ

以前は紙のお手紙を配布→回答用紙を先生に回収してもらい、参加人数の集計を行っていたが、紙のお手紙（参加申込用のQRコード記載）配布→オンライン回答とすることで、紙回収、集計の作業が省けた

└ 難しかった点

正しく設定しないと、一人が複数回回答できるなど混乱が生じる可能性があるため、ある程度使い方に詳しい人がいたほうがよい

・オンライン募集のイベントの参加率はどのくらいだったのか？

└ 定員制のイベントであったため、満員になりクローズした（加平）

└ まだ募集期間中であるが、サイトを見てくれた人が1～2割（青井）

・加平小でのイベントの告知（QRコード記載）は紙でお知らせしたのか？

└ 家庭ごとに案内配布したものと、ポスター掲示したものと2通り

■ 役員と役員以外のつながり、仕事量のばらつきを埋めるためにしていることは？

・そもそも今年度から役員・委員になった人は、もともとやりたいと思っていたか？

└ PTA活動を元々やりたいと思っていなかった。やらなければいけないという義務的なところに抵抗を感じる。やりたいイベント、できる行事だけ手伝うなど、もっとラフな感じでやれたらいいと思う

└ 6年間のうちに必須なので、子供が小さいうちにやったほうが楽だと思って始めた。

実際やってみると、子供たちが楽しめるイベントのお手伝いをできるのがいいなと感じる一方、仕事もあり両立が難しい。

└ スポーツに参加して学校や地域とつながりができてよかった。

└ 1, 2年の間、コロナ禍で幼稚園からの友達（お母さん同士）以外で、なかなか横のつながりを持つことができず委員をやるのに不安だったが、交流の場が増え、やってよかったと思った。

役員・委員をやってよかった、楽しかったという方は他にもいると思うので、それをやっていない人伝えられる場があるといいと思う。

■ 参加率をあげるための工夫

・参加率100%のイベントを考えてみよう

└ 事故防止に関する講座など、子供のために必須だと思える内容

└ 得点やポイントがつくようなイベント

・加平小で開催されたイベントの定員は？

┆ 会員全員にお知らせし、定員50名、満員になりクローズ

┆ 給食試食会は定員50名のところ、オンライン申込50名（満員でクローズ）、紙申込10名で枠を増やした

・べ切後に「参加したかったのにできなかった」等のクレームはあったか？

┆ 個別に若干名はいた

┆ Google Formsだと、自分の回答を後から確認できないため、自分で申込をしたかわからない人がいた

┆ 個人情報の観点からメールアドレスの収集等はしておらず、申込み後の案内は特に行わなかった（全員あての事前案内のみ）

4. 助言者のまとめ 青井小学校校長

自分も保護者だった時に、仕事との両立の難しさを感じたが、教員として学校生活の中でPTAに助けられていると思っていたので、できる仕事を探しながら参加したことを思い出した。

PTA活動を通じて、横のつながりができ、交友関係が広がり、子供を取り巻く環境がわかって安心した。

PTA活動は、去年やったから今年もやらないといけない、というわけではない。

自分たちが今必要としていること、やりたい事、できる事を考えてやっていけばいいと思う。

役員をやって楽しかった、と思えるようなイベントを企画・実行できるのが成人教育委員会だと思う。

今後ICTを活用した活動はますます進んでいく一方、保護者の中でスキルの偏りがあるので、そういった講習会を開くのもいいと思う。

PTA活動をやってよかったと思ってほしい。

8ブロック研修会 第三分科会（広報）

日時：令和4年11月23日 場所：加平小学校

テーマ：「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」：参加者：18名

1. 発表 東栗原小学校PTA 広報委員長

コロナを機に変えた活動は、打合せ方法にZoomを導入し、対面での話し合いを減らしました。行動規制時の撮影に関しては先生へ撮影依頼をお願いし対応。広報紙作成は大人数での作業にならないよう各号での担当割制で作成。分担する事で、個人が積極的に参加し、紙面に得意な事を取り入れ（手書きのイラストなど）楽しみながら活動されている方もいます。

行動規制緩和によりR4年のスポーツデイは保護者入れ替え制で開催され、広報の取材・撮影は各学年2名で実施できました。今後は、紙面の確認を副校長先生へ依頼するのに、+メッセージを試験的に導入し活用を目指します。例年、掲載された記事や対面の打ち合わせが、本当に必要なのかを検討すると共に、仕事と子育てと時間が限られている委員が多い中、活動の柔軟性に着目し円滑なPTA活動を学校と連携しながら続けていきたいと思えます。

2. 各校の活動内容・状況・課題

青井小学校：「運動会」「1、2年生消防写生会」・土曜授業に合わせて活動・活動量に差がある

加平小学校：「SDGsの取り組み」「かへいまつり」・土曜日の活動・平等な活動

栗島小学校：「運動会」「音楽会」・日程の調整を部長が行う・負担の偏りない割り振り必要

東栗原小学校：「スポーツデイ」「ひがくりっ子まつり」・各号担当制・活動の柔軟性

平野小学校：「日光自然教室」「平野まつり」・活動日は協力しながら決める・委員への平等性

3. 主な討議内容

Q：オンライン化はしていますか？

- ・話にはあるが、印刷業者とのやり取りに負担があり慎重に取り入れていけたらと思っている。
- ・現状なし。そういう声も聞かない。踏み出すには、個人情報観点からリスクがあると思う。

Q：引継ぎについてどうしていますか？

- ・一番重要。ノートとファイルを合わせ対面で3時間もかかり大変だったので、良い方法を模索したい。
- ・前年度の委員がコロナ禍できちんと引継ぎできていない為、さぐりさぐりで活動。

Q：紙面の工夫について教えてください

- ・かしこまり過ぎない。堅くなり過ぎない。読みやすさや写真配分を意識している。
- ・小さな行事でも記事にすべきか相談し、必要であれば取材撮影を行う。委員の得意分野を取り入れている。

4. 助言者のまとめ 東栗原小学校校長

働き方改革が懸念されている中、PTA活動でも工夫が必要だと感じました。

話し合いで出たことを記録してファイルに綴じても見ないことが多いのです。見たい人が必要な時に見ればいいと思います。広報さんが小さな行事に参加する事で「こんな授業があったのですね」と感激されていて嬉しく思いました。役員のメリットを感じていただけるといいですね。

来春からは欠席の連絡などメールでできるようになり、お手紙も SNS での配信、ペーパーレス化へ移行されますので、新たな工夫が必要になっていくと思います。

第8ブロック研修会 第四分科会（校外）

日時：令和4年11月23日 場所：加平小学校

テーマ：「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」：参加者：16名

1. 発表 栗島小学校PTA 校外委員長

栗島小は毎朝7時50分から8時15分まで当番の保護者が旗持ちをしている。夏の地域パトロールは多くの保護者が参加しやすいよう、土曜日に実施するようにしている。

コロナを機に、作業する際は人数制限を設け、少人数で動くようにした。委員同士の連絡はLINEを活用しているが、コミュニケーションの取りづらさを感じている。作業の負担軽減や効率化を進め、仕事をしている保護者にも協力的に活動してもらうことが今後の課題と考えている。

2. 各校の活動内容・状況・課題

（加平小）夏のパトロールの内容を見直し、必要なしと判断。その代わりに、各家庭に協力をいただき通学路の安全マップを作成した。六町駅前に地域の防犯拠点として「ろくまる」が開設され、警察官OBの方が見守ってくださっている。今後、校外指導委員との交流、情報共有など、連携できないか考えている。

共働き世帯が増え、時間が取れず、活動に参加できる保護者が偏りがちになってしまう。学校行事が多い中、校外指導委員独自の活動が実施しづらい。

（青井小）コロナを機に変更した活動はなし。夏のパトロールは暑さ、時間帯を考慮し自転車でのパトロールに変更。朝の見守りでは、タスキを使用しているが、衛生面など管理面を考えると、タスキは無くす方向がいいと考えている。配布物が多く、学校でしか作業ができないため、作業の負担軽減、効率化を考えたい。

（東栗原小）朝のウマ出しは校外委員が担当表を作成し、当番の保護者が担当している。コロナ禍で昨年度までできなかった夕方パトロールは再開していきたいと考えている。仕事をしている保護者が多いため、事前に連絡を取り合い、活動時間を夕方にするなど工夫している。運営、委員とのやりとりはメッセージアプリを活用し、学校に集まる回数を減らしている。作業負担の偏りがあるため、役割の分担をし、活動時間の改善をしていきたいと考えている。

（平野小）昨年より、なるべく人との接触を抑えるため「8.3運動」を「8運動」とし、登校時の見守りのみに変更した。ペーパーレス化をはかるため、役員で集まる際の手紙をLINEでの連絡に切り替えた。旗持ち、パトロールのローテーションはLINEを活用し、時間の空いた時に連絡できるようにするなど工夫

している。役員で集まる際、平日に時間を合わせるのは難しいため、土曜授業の時間内に集まり、解散も下校

時刻までに解散するようにしている。

3. 主な討議内容

①各校の活動について

それぞれの学校で旗持ちやパトロールの役割分担など違いがあったが、校外の活動は事故防止や抑止力になるため、重要な活動であるということが認識できた。各校共通の課題としては、人員の確保や活動時間の見直し、役員の負担軽減の方法などが課題として多くあがっていた。各校の取り組みを参考にしながら、今後の活動に取り入れていきたいという意見も出ていた。

②コロナ禍での活動

各校、活動内容の見直しや、学校での作業時間の短縮など、負担軽減につながる取り組みを行っていた。役員の連絡はメッセージアプリを活用するなど、新たな情報共有の仕組みを作っている学校もあった。

4. 助言者のまとめ 栗島小学校校長

どこの学校でもPTA加入率が下がっているなか、第8ブロックでは多くの世帯が加入しており、子どものために活動してくれていることへ感謝を述べたい。校外委員の活動は事故防止という役割もあり、とても重要である。ニューノーマルの中で、活動の見直しをし、アプリを活用したり、ペーパーレスを進めたり、負担軽減をしていくことも必要である。活動に関しては各校大変であり、それぞれ工夫をしながら活動している。今後もお互いに情報共有をしながら、活動の改善をしていけたら良い。

第 9 ブ ロ ッ ク

花 畑 小 学 校
花 畑 第 一 小 学 校
花 畑 西 小 学 校
桜 花 小 学 校
花 保 小 学 校

第9ブロック

【活動内容（運営）】

花畑小学校

- 役員会回数 : 0回
- 構成メンバー : 会長 0名
副会長 4名
書記 1名
会計 2名 会計監査 2名 合計 9名
- 運営委員会回数 : 0回
- 構成メンバー : なし
- 運動会のお手伝い : 無
内容 : 保護者入退場整理は校外部の活動(自転車来校者の整理の代替)として活動
- P T A競技の内容 : なし
- 学校行事の関わり方 : 学校行事は学校でおこなってもらう方向に進めた。
疑問のあったお手伝いについては、断るようにした。
- スポーツ部の種類と部員数 : ソフトボール 16名/バレーボール 8名
- 新規活動: BAND を利用して執行部と専門部の連絡をスムーズにできるようにした。
PTA メールを活用することで、毎月活動の内容を伝えられるようになった。
- P T A室 wifi ルーター : 無(学校からの貸出し)
- 問題点 : 今年度はやれる人がやれることをとということで、9割程度の保護者が何らかの活動に参加できたと思われます。各専門部の人数を制限しないことで、自身がやりたい、やれる活動を選べたためです。
当初は人数のことや連絡をどうしたらいいかなど多少の混乱はありましたが、BAND を利用すればすぐに執行部から返事が来るとわかってからは、大きな混乱もなく活動が進んだように思います。
運営委員会は各部門の活動や問題点の話し合いがほとんどだったので BAND で活動報告、問題点を回収し、P T Aメールで各家庭にフィードバックしました。新年度の役員選考、役員決めの方向性については、運営委員会の代わりにお手紙を配布し、可否を問いました。

花畑第一小学校

- 役員会回数 : 7回
- 構成メンバー : 会長 1名
副会長 6名
書記 2名
会計 4名 会計監査 2名 合計 15名
- 運営委員会回数 : 2回
- 構成メンバー : 会長・副会長・書記・会計・会計監査・各専門委員長 合計 22名

- 運動会のお手伝い : 有
内容 : 校庭・校門・地域店のパトロールと地域店に駐車禁止のポスター掲示
- P T A 競技の内容 : なし
- 学校行事の関わり方 : 学校公開の受付
- スポーツ部の種類と部員数 : ソフトボール 9 名 / バレーボール 5 名
- 新規活動 : キントーンへの加入をして、個人情報 safely に取り扱えるようにしました。今後は、執行部内のスケジュール管理などに使用。
- P T A 室 wifi ルーター : 無 (学校からの貸出し)
- 問題点
P T A は敬遠されているため、役員の選考が困難です。
一部に負担が偏ります。外部委託も考えたいです。
過去の資料が膨大なため、資料の保管期限や廃棄を考えていかないといけない。

花畑西小学校

- 役員会回数 : 5 回
- 構成メンバー : 会長 1 名
副会長 6 名
書記 8 名
会計 4 名 会計監査 2 名 合計 21 名
- 運営委員会回数 : 0 回
- 構成メンバー : なし
- 運動会のお手伝い : 有
内容 : 受付業務。手指消毒の呼びかけ。整列時の声掛け。
- P T A 競技の内容 : なし
- 学校行事の関わり方 : 学校公開の受付。持久走大会の交通整理。
- スポーツ部の種類と部員数 : ソフトボール 4 名 (OB 6 名) / バレーボール 6 名 (OB 10 名)
- 新規活動 : グーグルのアカウントを作成し出欠確認やアンケート調査等に利用した。
今後も紙をなるべく使わない工夫をする予定。
- P T A 室 wifi ルーター : 有
- 問題点
コロナ禍により、これまで続けてきた活動がなくなった。これにより、そもそもの活動の見直しが必要となった。会費と活動のバランスも再考する必要がある。

桜花小学校

- 役員会回数 : 10 回
- 構成メンバー : 会長 1 名

副会長 2名
書記 2名
会計 2名 会計監査 1名 合計 8名

- 運営委員会回数 : 4回
- 構成メンバー : 会長・副会長・書記・会計・会計監査・各専門委員長 合計 12名
- 運動会のお手伝い : 有
内容 : 保護者と来賓の受付業務。門前での保護者対応。前日準備。
- PTA競技の内容 : なし
- 学校行事の関わり方 : 学校公開の受付。運動会。音楽会。
- スポーツ部の種類と部員数 : ソフトボール 2名 (OB 12名)/バレーボール 9名
- 新規活動 : 学校支援ボランティアの募集。
- PTA室 wifi ルーター : 無
- 問題点
 - ・役員、委員共に担ってくれる方が少なく、一人に負担が偏ってしまう。
 - ・本部役員が少ないので、学校行事の時等に一人一人の役割が増えてしまう。
 - ・コロナで活動が制限されてしまう場合もある。

花保小学校

○ 役員会回数 : 5回

○ 構成メンバー : 会長 1名
副会長 5名
書記 4名
会計 3名 会計監査 1名 合計 14名

- 運営委員会回数 : 0回
- 構成メンバー : なし
- 運動会のお手伝い : 有
内容 : 校外周の見回り(親父会)
- PTA競技の内容 : なし
- 学校行事の関わり方 : 学校説明会でのPTA紹介。音楽会での保護者誘導。
- スポーツ部の種類と部員数 : ソフトボール約 8名/バレーボール約 8名
- 新規活動 : なし
- PTA室 wifi ルーター : 無

問題点 : 執行部役員を引き受けてくださる方がおらず毎年困っている状況、加えてここ数年は活動自体休止や減っているためPTA自体が認知されていない。

一方で今年度は一部の専門部については委員長を決めず、仕事を細分化して班分けし、初回のみ集ま

り、あとはLINEグループでやり取りとしたことで以前よりも参加率がアップしたように感じるが、仕切る側(執行部役員)の負担は依然として残っているのであまり解決した気がしていない。

PTAの外部委託についても検討したが、結局委託できるのは作業のみとなりそれを仕切ることを委託するのは難しく、根本的な解決は不可能と判断。

オンライン化についても検討しているが、保護者によってITリテラシーに差があり、スマートフォンを使っていないなど前提状況が異なるため思い通りに実施するのは難しいと感じている。

【学年・学級委員会】

花畑小学校

○ 委員会回数：対面1回

○ 活動内容

➤ PTA会費集金

➤ お楽しみ会企画運営

1年：クリスマスオーナメント作り

2年：○×クイズ、玉入れ

3年：ドッジボール

4年：ビンゴ大会

5年：お楽しみ会中止

6年：ドッジボール

3組：お楽しみ会中止

予算はゲームの景品や記念品を購入し、先生、子どもたちに配布した。

○ 新規活動：なし

○ 問題点

コロナ渦により保護者の参加を断念した。

お楽しみ会を開催するにあたり、授業時間をいただくことになるので、学校の負担も鑑み、お楽しみ会、学年学級部を廃止し、別の形で子供たちに還元できることを検討中。

花畑小学校(子どもまつり)

○ 委員数：5名(その他の学年20名)

○ 委員会回数：対面2回

○ 活動内容：子供まつり開催にあたり、日程、予算、ゲーム数等、副校長と打ち合わせ。

➤ 各学年ゲーム担当決定

➤ 子供まつり便り印刷 配布

➤ 参加費集金

➤ ゲーム参加券 印刷 配布

➤ 景品内容決定 購入

- ゲームブース備品確認
- 子供まつり当日
- 各ゲームブース準備
- 景品袋詰め
- ゲーム開始
- ゲーム終了後片付け
- 子供まつり会計報告
- 新規活動：なし
- 問題点
 - 集金日を忘れる子については、後日再集金日を設定。
 - 景品の購入前は、ある程度フレキシブルに対応。
 - 景品を持ち帰るのを忘れる子の対応を事前に準備してくと良かった。

花畑第一小学校

- 委員数 : 12 名
- 委員会回数：対面 1 回
- 活動内容 : 学校公開受付、道徳授業地区公開講座への出席
 学年行事

1 年	クリスマスリース作り	2 年	いも版づくり
3 年	染め物体験	4 年	10 歳のお祝い
5 年	パラスポーツ体験	6 年	親子コサージュ作り
- 新規活動 : なし
- 問題点

コロナ禍のため、行事は先生方主体で進められました。委員が何もしない学年もあり子供たちは、楽しんでいましたが委員の役割としては果たせていないように感じました。

花畑第一小学校(フェスタ)

- 委員数 : 15 名(執行部)・その他、ボランティア 70 名
- 委員会回数：対面 5 回
- 活動内容 : 輪投げ/的当て/万歩計ふり/ヨーヨー釣り/花育のブースを設置
- 新規活動
 - 3 年ぶりの開催のため、参加費は無料
 - コロナ禍のため、飲食の販売は、なし
 - 今年度は、フェスタ委員会を発足しなかったため、執行部とボランティア 70 名程で準備・開催しました。

○ 問題点

ボランティアの人数確保と指示に苦労しました。今年度は、執行部が運営しましたが、他の業務もあり負担がかかりました。コロナ前より、かなり縮小したフェスタでしたが開催するには、フェスタ委員会が絶対不可欠だと思いました。

花畑西小学校

活動なし

桜花小学校

- 委員数 : 12名(実働9名)
- 委員会回数 : 対面4回
- 活動内容 : 桜花まつり・音楽会のお手伝い
- 新規活動 : なし

花保小学校

- 委員数 : 56名
- 委員会回数 : 対面1回
- 活動内容 : 各学年の学年行事(今年度は下記実施)
 - ・3年生 : 交通安全教室
 - ・4年生 : 2分の1成人式
 - ・6年生 : コサージュづくり
 - ・次年度のPTA委員決め(保護者会時に決定)
- 新規活動 : なし
- 問題点
今年度は3役を決めず、学年ごとに班を作り班で活動としたが、コロナ前の活動規模に戻った場合は今回のやり方では難しく、3役の選出が困難になることが予想される。

【広報委員会】

花畑小学校

- 委員数 : 30名
- 委員会回数 : 対面10回
- 活動内容
年2回の広報紙発行・PTAメール(月次作業として、①担当者が下記内容のメール素案を作成、執行部に提出する、②活動報告として各部の活動を簡易報告する、③トピックスとして、PTAに発信すべき情報があればまとめる。)
- 新規活動 : なし

○ 問題点

《広報紙》取材時に広報部のデジカメを使用しているが、データを集めるために都度回収している。毎回受け渡しの都合をつけなくてはいけないので、手間がかかる。

P T A会議室のパソコンではインターネットが使用出来ないため、個人のパソコンを使用。

印刷会社への入稿はL I N Eなどスマホからでも可能だが、スマホでの撮影が禁止されているため難しい。紙媒体は料金が高く、予算をオーバーしてしまった。

編集作業はどうしても少人数になってしまうため、負担がかかる。

《P T Aメール》問題点はとくにありません。良い点として、b a n dの活用で情報収集ができるため個人で活動しやすくありがたかったです。

花畑第一小学校

○ 委員数 : 24名

○ 委員会回数 : 対面3回/オンライン3回

○ 活動内容

年3回の広報紙発行・表彰式への参加・入学式、スポーツデーの動画配信（保護者向け）

○ 新規活動

PTA独自のブログ発信の準備段階

発行号ごとのリーダー制にしました。（委員長の負担軽減のため）

○ 問題点

広報撮影の際に、スマホを利用して撮影したメンバーがいたため、教員に誤解を与えてしまいかねなかった。→広報であることを目立つような格好とするようにルールを制定を予定。

花畑西小学校

○ 委員数 : 13名

○ 委員会回数 : L I N Eにて

○ 活動内容 : 年2回の広報紙発行

○ 新規活動 : なし

○ 問題点

今後ペーパーレス化を進めるにあたりどう変えていくのか定まっていない。

引き受けてくれる役員がいない。

桜花小学校

活動なし

花保小学校

- 委員数 : 35 名
- 委員会回数 : 対面 1 回
- 活動内容 : 広報紙「はなほ」の発行(今年は 1 回)及び近隣住民へのポスティング
- 新規活動 : なし
- 問題点

広報部としての広報紙の発行は 3 年ぶりだったので皆さん勝手が分からずほぼゼロベースからの作成となった。

【校外委員会】

花畑小学校

- 委員数 : 56 名
- 委員会回数 : 対面 1~2 回(各学年)
- 活動内容
 - 夕焼けチャイム後に学区内地域のパトロール。及び、声かけ(2 回/年)
 - 朝の登下校におけるパトロール(2 回/年)
 - 運動会観覧の保護者等の入退場整理
 - 子ども 110 番登録者への継続確認と新規開拓。

登録者へ各担当から次年の継続確認と、継続の際はステッカーの汚損がないかの確認。汚損があるステッカーは張替のため、新しいステッカーを届ける。

登録者の少ない地域については新規開拓のお声掛け実施。登録者名簿が出来上がったら足立区へ提出し、ステッカーを発注。届いたステッカーを登録者へ届けて完了。

- 新規活動 : なし
- 問題点
 - 見守りポイントを 5 人で割り振って見守りましたが、学童擁護員の方も同じポイントに立っているため、役員の見守りポイントは見直しが必要かと思いました。見守りに関しましては、車や自転車の交通量が多い場所では積極的に声掛けを続けていく必要があると感じました。
 - 運営委員会では、自転車やバイクで来校する保護者はほとんどいなかった。学年ごとの入れ替え制だったため、並んで待っている保護者の列が長くなると隣のマンションや住宅の迷惑になるので注意が必要。

花畑第一小学校

- 委員数 : 12 名
- 委員会回数 : 対面 7 回/オンライン 3 回(四役のみ)
- 活動内容
 - こどもをまもろう 110 番ステッカーご協力者への挨拶

- パトロール（夏休み・冬休み・通年）
- 大鷲神社 西の市パトロール
- スポーツデーパトロール
- 立て看板の点検・補修
- 校外便りの発行
- 花いっぱい運動
- ごみゼロ運動
- スポーツデー、学習発表会開催時の無断駐車防止ポスターの掲示
- 新規活動
 - スポーツデー、学習発表会開催時に近隣商業施設への無断駐車防止のポスター掲示
 - 劣化・破損の激しい立て看板の選定、廃棄
 - 四役話し合いにおいてオンラインを活用
- 問題点
 - コロナ禍で2年間校外委員会が発足しなかった為、こどもをまもろう 110 番ステッカーの劣化、紛失が多くあった。
 - 該当民家、店舗を訪問してこどもをまもろう 110 番事業の説明と名簿作成の対応をした。20 件ほどあり、現在も確認作業を継続中。
 - 立て看板の劣化も多く、紛失しているものもあった。今年度廃棄した箇所を含めて特に危険が予想される場所については、来年度選定を行い、足立区に立て看板設置のお願いをすることとした。花一学区内で上限 3 枚にて看板設置予定。
 - こどもをまもろう 110 番のご協力者でステッカーをお渡しても貼っていない民家・店舗があった

花畑西小学校

活動なし

桜花小学校

- 委員数 : 33 名
- 委員会回数 : 対面 2 回
- 活動内容
 - 学校公開の受付（6 月と 10 月）
 - 夏のパトロール
 - こどもをまもろう 110 番
 - 運動会駐輪場の整備と学校の見回り
 - 西の市パトロール
- 新規活動 : なし

○ 問題点

今年度は定例会を2回のみおこなって、連絡等はすべてラインで行いました。委員の人数も多かったため、協力していただき助かりましたが、委員長がすべての連絡を回したり内容(活動のやり方)を決めたりするのが大変だと思いました。ラインで行うことにより時間を割いて集まる回数は減って良いがもう少しやり方を考えなくてはいけないと思いました。

花保小学校

- 委員数 : 49名
- 委員会回数 : 対面1回
- 活動内容 : 子どもを守ろう110番活動(近隣住民への参加依頼及び区への報告)・交通安全指導
- 新規活動 : なし
- 問題点 : なし

【成人・文化委員会】

花畑小学校

- 委員数 : 34名(ボランティア)
- 委員会回数 : 対面2回
- 活動内容
 - 心の教育や学校、家庭、地域社会における道德教育のあり方について相互理解を深めるため、教育委員会及び学校が主催する本会に成人部として参加した。
 - 保健委員会へ成人部として参加する予定。
 - 週2回行われる朝学習の丸付けに参加する。学習の内容や学校の取り組み状況を確認し、保護者にフィードバックしていく。
- 新規活動
 - Webフォームを活用した出席確認と参加レポートの提出を行った。
 - 各自活動日、活動結果をBANDにて報告。
- 問題点 : なし

花畑第一小学校

活動なし

花畑西小学校

活動なし

桜花小学校

- 委員数 : 10 名
- 委員会回数 : 対面 6 回
- 活動内容 : 定例会・救命講習会（運営委員会）
- 新規活動 : なし
- 問題点
 - 委員会活動に 1 度も参加しない委員がいる
 - 講習開催の時期が 1 2 月まで予約ができなかったため、もう少し早めに動けたら良かった
 - 仕事をしている保護者が多いので日程や時間などいつなら参加しやすいか、検討しないといけない

花保小学校

- 委員数 : 35 名
- 委員会回数 : 対面 3 回
- 活動内容 : なし
- 新規活動

感染防止の観点からこれまでの文化部の活動(給食の試食会、保護者向けイベント、運動会での P T A 競技など)は難しく、今年度は創立 50 周年に関わる下記活動を実施。

 - 児童(風船)集会での風船の管理
 - 創立 50 周年記念品の袋詰め
 - 創立 50 周年式典・祝賀会の前日準備
 - 創立 50 周年式典・祝賀会での来賓案内
- 問題点 : なし

【役員選考委員会】

桜花小学校

- 委員数 : 3 名
- 委員会回数 : オンライン 4 回
- 活動内容

来年度本部役員立候補・推薦していただける方を一人でも多く募るために、お手紙や本部役員の方から実際にお話を聞ける説明会実施し、来年度の役員が承認されるまで丁寧に活動を行います。
- 新規活動

立候補、推薦があった方にわかりやすく安心して丁寧に活動内容が伝えられるよう、現役員との(会長・副会長)顔を合わせ、質問疑問に答えられるように、説明会の場を設けました。
- 問題点

反省点になります。

3名の委員の間で体調不良等によりスケジュールを合わせるのが難しく、定例会を定期的に対面で行うことができませんでした。

3名という少人数だったため、密に連絡をとることができました。

第10ブロック

竹の塚小学校
保木間小学校
西保木間小学校
渕江小学校
渕江第一小学校
中島根小学校

令和4年度 第10ブロック ブロック研修会

テーマ： 「自粛の中でのPTA」 ～今、何ができるか～

【役員数】

	本部					専門部			
	会長	副会長	書記	会計	会計監査	成人	広報	校外	学年 学級
竹の塚小学校	1	4	4	4	4	13	12 文化	13	24
保木間小学校	1	3	5	3	4	地 域 活 動部へ 統合 1 2	6	地 域 活 動部へ 統合 1 2	12
西保木間小学校	1	3	4	4	2	6	6	6	6
湊江小学校	0	8	7	9	4	13	10	23	15
湊江第一小学校	1	7	11	5	2	18	18	18	48
中島根小学校	1	4	4	3	4	12	12	12	24

1 PTA行事について

Q. 1 令和4年度に行ったPTA主催の行事、工夫した点

◎本部担当行事

	行事名	工夫した事
竹の塚小学校	総会	書面で行った
	お祭り	中止にした
保木間小学校	イベント受付	検温とアルコール消毒の徹底
西保木間小学校	PTA総会	来賓をなくし、説明も省略し、コンパクトに時間をかけずに行った
	西保まつり	学校の児童だけにして、当日券もやめ、調理が必要な飲食もやめ、学年ずつ入れ替え制にした
湊江小学校	総会	密回避のため書面開催
	お祭り	飲食なし
湊江第一小学校	総会	密回避のため書面開催
	次年度役員選挙	特になし
中島根小学校	中島根まつり	3年ぶりなので密を避け校庭と体育館で分散した

◎成人担当行事

	行事名	工夫した事
竹の塚小学校		文化交流会として、例年は希望者による親子でのサッカー教室や卓球教室、保護者向けの茶道教室をおこなっていたが、コロナ禍で部内にて見直した。メインの花壇作成活動のうち、卒業式の花壇デザインを夏休みの任意課題の一つにして公募したところ、たくさんの応募や親子で話題になったとのお声をいただいた。テーマを決めて全校生徒あてに書面にて周知することにより、PTA文化部としての活動により深い理解や協力が得られたと思う。給食試食会は中止としました。
保木間小学校 成人・校外を地域活動部に統一	漢字検定の見守り	特になし。
西保木間小学校	運動会	2学年ごとの入れ替え制だったので、自分の子供の競技時間と重ならないように振り分けて、門に立ち開け閉めをした。
	子どもを守ろう 110番	校外の方がまとめて下さった資料を元に、用紙を見せながら簡潔にお話しました。
洺江小学校	ソフトボール大会	応援人数を少人数に、短時間に変更。主に太鼓やうちわを使って応援。弁当なしお茶の差し入れ。
洺江第一小学校	2月まで特に活動無し	予定していた例年行事（老人ホーム支援、クリーン活動）が中止。 学校行事（持久走記録会の保護者受付や、学校公開1/14（土））も中止。
中島根小学校	バレーボール大会	消毒、検温、換気に注意した。

◎広報担当行事

	行事名	工夫した事
竹の塚小学校		去年に引き続き、オンラインでの部会を行った。紙面作成にあたり共通クラウドをつかうことで、データのやりとりが楽になり良かった。在宅の仕事を増やしたためお仕事が忙しい方でも広報部ならPTA活動ができるかもしれないとの声もいただいた。相談事などは、対面の方がしやすいなどデメリットもありますが効率もあがるのでバランスよく取り入れていきたいと感じた。
保木間小学校	広報紙発行 (年1回)	特になし。
西保木間小学校	広報紙発行 (年2回)	作製による部会をできるだけ減らし、SNSで連絡を取ったこと。先生紹介のページ作りではテンプレートを利用し、先生との接触を減らしたこと。

渚江小学校	広報紙発行 (年2回)	特になし。
渚江第一小学校	広報紙発行 (年1回)	大人数で集合する部会などをなくし、LINEのグループチャット機能を活用。積極的な参加の打診、LINEでの投票機能などで、なるべく多くの人の意見を取り入れられるような工夫した。
中島根小学校	広報紙発行 (年2回)	見やすさや写真の配置など。

◎校外担当行事

	行事名	工夫した事
竹の塚小学校	旗持ち	長期休業明けの旗持に加えて、秋の交通安全週間の時にも旗持を行い、交通安全を意識する機会をふやした。
	放課後 パトロール	コロナ禍のため放課後パトロールを行わないかわりに「こどもを守ろう110番」のご協力店舗や危険個所を記載した安全マップを各家庭に配布した。また地域での見守りと防犯の場所を広げるために「こどもを守ろう110番」に新たにご協力いただける店舗様を増やした。
保木間小学校	—	—
西保木間小学校	交通安全運動 旗振り当番表 作成	コロナ禍で児童がお休みの為、当番表ファイルがまわっていない事が多々あったので、その都度確認したり、担当の先生に差し替えをお願いしたりしました。当番表作成に関しては特になしです。
渚江小学校	馬だしなど	特になし。
渚江第一小学校	こどもをまもろう110番 店舗訪問	特になし。
中島根小学校	休み明けパトロール	事故の無いように声掛けをした。
	110番ステッカー	御礼のご挨拶を直接するようにした。

◎学年学級担当行事

	行事名	工夫した事
竹の塚小学校	3 学年自転車教室	先生方や校外部長さんの力を借りながら進めた。自転車の持参方法のお伝えやお手伝いさんを募るのに学年便りを発行した。コロナ禍でも特に変わりなく、スムーズに案内等できました。
保木間小学校	担任の先生へのメッセージカード作成	特になし。
西保木間小学校	西保まつり	消毒、並ぶ間隔を空けるなど。
洺江小学校	学年行事	校庭で開催可能な活動を中心に検討。
		実施時の基本的な感染対策。
		クラス単位での開催可能な活動の検討。
洺江第一小学校	学年行事（一部学年）	保護者参加なしで、児童と教員、役員のみで実施。
	学年行事	※2月以降に実施予定の学年もあり。
中島根小学校	ベルマーク集計	3年ぶりなので密の無いように数日に分けて作業した。

Q.2 令和4年度現在、コロナの影響で中止中または廃止にした行事

◎本部

	行事名	内容	
竹の塚小学校	竹小まつり	飲食やゲームなどのおまつり。	休止中
保木間小学校	わいわいフェスティバル	屋台・バザーなど。	廃止
	定期総会後の歓送迎会（本部・専門部全体）		廃止
	卒業準備委員会主催の謝恩会		廃止
	こどもをまもろう 110番ステッカー（地域活動部）	協力してくださる家庭にステッカー配布→休止（名簿作成のみ）。	休止中
西保木間小学校	もちつき大会	もちつきの全体の運営。子ども達のサポート。	休止中
	クリーン作戦	地域のゴミ拾い。	休止中
洺江第一小学校	洺一まつり	夏祭り（まつり実行委員）。	休止中

◎成人担当行事

	行事名	内容	
竹の塚小学校	給食試食会	給食の試食（保護者むけ）（文化）	休止中

西保木間小学校	ボランティア活動	老人ホームでのボランティア活動	休止中
渚江第一小学校	ボランティア活動	老人ホームでのボランティア活動	休止中
	クリーン作戦	学校周辺の清掃活動	休止中
中島根小学校	ドッジボール大会	親子ドッジボール大会	休止中
	ソフトボール大会	学年対抗ソフトボール大会	休止中

◎校外担当行事

	行事名	内容	
竹の塚小学校	放課後パトロール	下校後のパトロール	休止中
西保木間小学校	クリーン作戦	西保木間小学校と竹ノ塚中学校と地域の方と共に周辺のゴミ拾い	休止中
	夏祭りパトロール	地域のお祭りを2日間(3か所)パトロールを行います	休止中
中島根小学校	夏休みパトロール	学区内の防犯見守り	休止中

◎学年学級担当行事

	行事名	内容	
竹の塚小学校	学年行事	各学年で行う保護者も参加できる行事	休止中

1 PTAの運用について

Q.1 近年、PTAの運営に新しく取り入れたものは？また、そのメリットは？

竹の塚小学校	毎月の運営委員会を、ラインワークスで行うようにした。わざわざPTA室に集まらずに委員会をすすめることができるとも楽だったが、対面していないことで小さな質問等がしづらくなったり意思の疎通がむずかしかったりした。
保木間小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE WORKS という連絡ツールの導入 ①従来LINEを使用していたが複数案件のコメントが混在した際にわかりづらくなっていたが、LINE WORKSは案件ごとにコメントをまとめることができる。 ②翻訳機能が付いているため海外の保護者にもコメントをまとめることができる。英語、韓国語、中国語(簡体字、繁体字)、スペイン語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ポルトガル語 ③LINE(ニックネーム)と違い本名登録となるため管理がしやすい。 ・PTAスマートフォンの導入 ①テザリング機能でPTA室のインターネット利用が可能になった。 ②まだ活用できていないがPTA用の電話連絡手段が出来た。

西保木間小学校	月一の本部会、LINE でのやりとり 基本はLINE でのやりとりをしています。月一で本部会を行い直接やりとりすることで、コミュニケーションをとれるようにした。また、LINE は使用ルールを決め、早朝・深夜帯の発信をなくした。
湧江小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の署名委開催。集まりの準備をする手間が省けました。学校メールから Google の議決フォームで、手軽に回答できるようになったので、集まりに参加するために都合をつけたり時間を確保したりせずに済むようになりました。 ・グループ LINE の活用。本部内はもちろん、専門具への連絡事項も紙面ではなく LINE が主になりました。学校での印刷作業や配布の手間が省け、家にいて連絡できるのでラクです。 ・ZOOM の活用。使用頻度は低いですが、会計等の込み入った内容の時は便利でした。 ・来年度より Slack 使用予定。
湧江第一小学校	総会の書面開催。集合に対する執行部段取りや、保護者の負担が減っています。集合しないまでも書面での議決により、特に異論も出ていません。・グループ LINE の活用。本部内はもちろん、専門部への連絡事項も紙面ではなく LINE が主になり、スピードが上がっています。また、学校での印刷作業や配布の手間が減っています。・会計において、クラウド型かつ無料の会計ソフトを試用。現金出納の記録は必要ですが、帳簿における手計算が減っています。
中島根小学校	特にありません。

Q.2 現在開催している委員会時の人数の詳細

		出席人数		
		本部	専門部	先生
	開催数(年)	人数	各人数	人数
竹の塚小学校	12	16	1	2
保木間小学校	2	11	1	2
西保木間小学校	2	12	2	2
湧江小学校	1	20	原則全員	0
湧江第一小学校	9	9 5	原則全員	8
	※合計	※合計		※合計
中島根小学校	LINE 連絡			

Q.3 委員会開催にあたり、以前より変えた事や、工夫している事を教えてください。

竹の塚小学校	対面の委員会を減らしてラインワークスでの開催を増やした。
保木間小学校	開催数を減らした。オンライン開催に向けて新PCの購入を検討中。
西保木間小学校	委員会の回数を減らした。
渕江小学校	年度始めの「新旧理事会」1回のみ。密を避けるため、体育館で開催。
渕江第一小学校	・年度始めの「新旧理事会」1回のみ。 ・運営委員会は、集合をとりやめ、書面にて報告。
中島根小学校	委員会の回数を減らし、随時LINEで連絡報告。

Q.4 現在のPTA会費はいくらですか？また、行事中止により保護者、児童への還元はありましたか？

竹の塚小学校	一時的に3,000円→2,000円（一世帯）にしています。 行事中止で使わなかった予算は周年行事準備金へ当てました。
保木間小学校	3,000円（還元なし）。
西保木間小学校	1世帯 3,000円 コロナ禍一年目は還元（振り込みで）した。2年目以降は、元に戻しました。
渕江小学校	3,000円/年 金額変更、還元等実施無し。
渕江第一小学校	3,100円/年（足立区のPTA団体保険等も含む） 金額変更、及び還元等実施なし。
中島根小学校	変更なし（1世帯 3,000円） 年度末に文房具セット、名札を渡す。

Q.5 現在、どのような方法で学校と連絡を取り合っていますか？

竹の塚小学校	副会長は週に1度は学校へ行くことがあったので、その際に連絡を取りました。
保木間小学校	電話または直接学校へ行って連絡。（従来と変更なし）
西保木間小学校	各役職が学校へ電話連絡しています。
渕江小学校	直接学校でお話できない時は、本部の代表者が先生方と電話やメールで連絡を取っています。「PTAだより」の校長先生・副校長先生の挨拶分は、書記がメールでデータのやり取りをしています（以前は書面で直接のやり取りが主でした。）。
渕江第一小学校	直接学校でお話できない時は、本部の代表者が先生方と電話で連絡を取っています。
中島根小学校	週に一回は必ず筆頭副会長が顔をだしている。電話連絡。

Q. 6 令和4年度に、学校側からPTAにお手伝いの依頼があった行事名、内容は？また、例年やっている事なのか、近年（コロナ禍で）始まった事か？

	行事名	お手伝いの内容	
竹の塚小学校	学校公開	受付や見回りをする保護者を募り、ふりわけ。	例年
	運動会	受付や運動をする係のふりわけ等。	例年
保木間小学校	運動会、学校説明会、学芸会などの受付手伝い	例年行っている受付にくわえて、コロナ禍になってからは検温とアルコール消毒を追加。	
西保木間小学校	スポーツフェスティバル	2学年ずつ入れ替え制にした際の入口の受付と誘導、出口への誘導。	近年
	持久走記録会	ボランティアの募集、コースの見守り。	例年
	学校公開受付	年に2回の学校公開の受付。	例年
洺江小学校	体育学習発表会	受付・消毒・検温・誘導 (消毒・検温はコロナ禍のみ)	例年
	音楽会	同上	例年
	学校公開	受付(学年部)	例年
洺江第一小学校	体育学習発表会	受付・消毒・検温・誘導・校内/校外パトロール(消毒・検温はコロナ禍のみ)	例年
	持久走記録会	受付・消毒・検温・誘導・校内/校外パトロール(消毒・検温はコロナ禍のみ) ※雨天により無し。	今年
	学校公開(未就学児保護者向け)	受付(年学級部)	例年
	土曜学校公開	受付(成人教養部と校外指導部で分担)	今年
中島根小学校	なし		

今後のPTA

来年度以降の行事や意見について

竹の塚小学校	本部役員を2年させていただきました。コロナ禍で役員同士の交流が減り、子どもたちのために、一緒に行事をやろう！というモチベーションが下がっています。お母さん方も働いていない人の方が少ないので、PTAに時間を使えなくなっています。働いている人からすればおなじ時間を使うなら、お給料がもらえる仕事に行きたいのが当然だと思うので、コロナをきっかけにどんどんPTAを縮小していけたらなと思っています。
保木間小学校	コロナ禍が明けるため、対面型の行事を増やせるか検討中

西保木間小学校	西保木間小は児童数が少ないので、この先、PTAの活動が保護者の負担になるのでは？と思っています。作業のアウトソーシングやPTAのスリム化など少ない人数で運営しなければならないPTAは変えるべきは変え、残すものは残す考えも持って進めなければならないと思います。その上で子ども達が楽しみにしている行事を毎年開催していきたいと思います。
湧江小学校	今年復活した「けやきまつり」は継続する方針。・年々仕事を持つ保護者が増えて中、「子供たちのために必要なこと」は残しつつ、先生方や保護者の負担にならないようなPTA活動を検討中。
湧江第一小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「湧一まつり」は児童たちが喜ぶため、現在休止中ではあるが、復活を望む声が多い。 ・従来行事は、昨年度や過去実施していた、という思考で対応していた状況（かつ、各専門部を含めた予算配分も、従来と同じ、という傾向）。だが、来年度は「児童のために、やってあげたいこと」「PTA活動として、やったほうがよいこと」という軸で、現役員が検討中。 ※受け身から自発行動へ。
中島根小学校	特にありません。

第 1 1 ブロック

伊 興 小 学 校
東 伊 興 小 学 校
西 伊 興 小 学 校
西 新 井 第 二 小 学 校
栗 原 北 小 学 校

11ブロック研修会

形式 フリーディスカッション形式での研修会

テーマ 自粛の中でのPTA ～今何ができるか～

日時 令和4年12月16日

会場 伊興小学校 ランチルーム

参加者 各校校長、副校長、PTA会長 計15名

【各校の今年度のPTA活動】

今年度、久々に学校のお祭り（フェスタ）を実施した学校が多かったのも、その実施状況や課題等について、情報共有を行った。以下、各校ごとの概要。

（伊興小）

- ・やきそば、たこ焼き、フランク等の食べ物や飲み物、駄菓子の販売、ゲームなどの模擬店を出した。
- ・飲食は禁止として、持ち帰りのみとした。
- ・期間が空いた影響でノウハウが無くなってしまっていたので、以前より規模を縮小して行った。継続してやっていく必要性は感じた。
- ・縮小した分、人が集中して混雑してしまったという点が今後の課題。

（東伊興小）

- ・来場者は1,500人～1,600人と、非常に大勢集まった。
- ・子供達が楽しめるよう、警察や消防にも協力してもらい、パトカーやポンプ車を呼んだり、段ボールで作った達磨落としやボッチャの体験コーナーを作ったりなど、様々なブースを作った。
- ・伊興中吹奏楽ややんちゃ太鼓、ダンスなど子供達の披露の場も作ることができて有意義だった。
- ・土曜授業の午後に設定したので、職員も参加しやすかった。
- ・3年のブランクが大きく、分かる人が少ない中で難しい面も多かった。

（西伊興小）

- ・飲食無しで実施した。
- ・食べ物の仕込みなどが無いため、非常に負担が少なく実施することができた。
- ・参加も子供達だけということで、心配していたコロナのクラスターも発生せず、無事終わることが

できた。

- ・事前チケット制にしたところ、ほぼ全ての子供達が全ブースに参加希望していることが分かり、時間内に回ってもらうためにシミュレーションを重ねた結果、全て時間通り終わることができ、子供達も楽しめて良かった。
- ・次年度は教育課程の中でやってみたい。お店を子供達と協働しながらやれば子供も教師も全員参加することができる。

(西新井第二小)

- ・これまで、同窓会とPTAのOBと現役のPTAの三者でフェスタを開催しており、三者間で春先から調整・準備が必要で、早めに方針を決めなくてはならない中で、感染状況も鑑みて、今まで通りの開催は行わず、子供達が遊べるスポーツフェスタのような形で実施した。
- ・毎回わくわくセンターという土曜授業の午後毎月遊ばせている事業を拡大して、低・中・高学年と分け、3か月に渡り行った。
- ・親も先生も子供達と一緒に楽しく雰囲気で開催できていた。
- ・高学年の子には、お手伝いもしてもらっていた。

(栗原北小)

- ・混雑を避けるため、10時～12時の前半を1～3学年、13時～15時を後半として4～6年で入れ替え制にして行った。
- ・2部制にしてみても、長時間に渡ってしまい、準備も前後半それぞれ行わなければならず、大変な面はあった。
- ・焼きそば、モツ煮、焼き鳥、綿あめなどの模擬店を出し、飲食も可とした。飲食は校庭で対面にならない形にするなどした。
- ・飲食スペースを設けたことについて、特段の問題は生じなかったが、お願いしていたごみの持ち帰りが徹底できず、置いて帰ってしまうケースもあり、来年度の課題。
- ・子供達が現金を持って、いろいろ買ったりできるお祭りがしばらく無かったので、やれて良かった。

【各校の今年度のPTA活動】

コロナ禍で、積極的に集まったりすることが難しい中で、ラインを活用した連絡や討議に関して、現状の情報共有を行った。

- ・各委員会、サークルごとにグループラインを作ってもらっている。
- ・最近では、様々な連絡にラインを使っているのも、一番容易に連絡できる手法ではないか。
- ・ラインでのやりとりを行うことで、都度集まらなくてもよくなった。
- ・逆に、ラインだけのやり取りだと、ニュアンスなど伝わりにくい部分があって集まったりすることもあった。

【PTAへの参加拒否問題について】

PTAへの未加入問題について、各校の現状や解決策等を話し合った。

- ・親同士で協力して学校での教育活動を盛り上げていくことがPTAの趣旨だと思う。
- ・PTAに参加しなくても、子供達の参加は拒めないものの、経費の問題等は生じるので、その点を十分理解してもらいたい。
- ・最近、PTA行事を外注という話もあるが、イベントをやるために活動している訳ではないし、親が学校との関係性を持つことも大切だと思う。
- ・先生だけでは足りないマンパワーを補う役割があるので、その分先生方が教育に力を入れることができるということを説明していかなければならないと思う。
- ・生活指導上の問題等で助けてもらうこともあるので、PTAが無いと考えると怖ささえ覚える。
- ・反対意見の人がいることで、その意見を聞いて、どうしたら参加してもらえるか考えることで、より良い活動ができるのではないかな。

【まとめ】

今年度は、久々に学校まつり（フェスタ）を開催した学校が多かったものの、コロナ対策のための制約やノウハウ不足など、様々な問題も見えた。そのような状況での各校での工夫や、課題などを共有でき、来年度の開催に際しての参考となった。

また、PTAの未加入問題については、解決が難しい問題でもあり、各校から様々な意見が出されたが、PTAの役割や必要性といったものについての考え方は、各校ともほぼ一致していた。多様な意見、考え方がある中で、一定程度の反対意見があるのは仕方ないところではあるが、より多くの保護者がPTAに賛同し協力してもらうために、どのような活動が考えられるか、今後もブロック内での連携、情報共有を図りながら検討を進めていきたい。

第 1 2 ブ ロ ッ ク

鹿 浜 五 色 桜 小 学 校
新 田 小 学 校
鹿 浜 第 一 小 学 校
鹿 浜 西 小 学 校
北 鹿 浜 小 学 校
皿 沼 小 学 校

第12ブロック研修会 研修テーマ『家庭とICT』

◆実施概要

引き続き、コロナ禍やインフルエンザなどの感染症リスクもあり、加えて、この度の研修内容でICTを大きく取り扱うため、動画を作成のうえ、全会員に閲覧する形式により研修を実施した。

<https://youtube.be/WMxe3kjo40k>

配信期限：令和5年2月中旬から3月4日まで

撮影会場：鹿浜第一小学校

主催校：鹿浜西小学校

協力：鹿浜第一小学校・新田学園小学校

◆背景

コロナ禍の影響により、一般社会ではオンラインミーティングが一般化するなど、急速に社会環境が変わってきた。また、学校教育現場も同様であり、当初の5年計画のIT化対応を1年で対応するに至った。このため、IT化に関する学校の現状及び課題を認識し、一方、家庭環境のIT環境に関する課題の両面を踏まえつつ、今後のPTA活動を検討する場の一助となるように研修を実施した。

◆研修内容

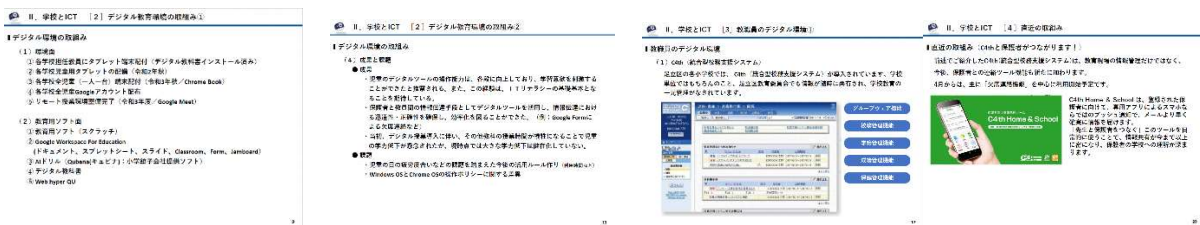
I.学校とICT 講師：鹿浜第一小学校校長

II.家庭とICT（アンケート結果） 報告者：皿沼小学校PTA会長

III.今後のPTA活動の一案 提案者：鹿浜第一小学校PTA

I.学校とICT

これまでの足立区での取り組みや教育におけるIT化、及び教職員が利用するシステムについて、中郡先生にわかりやすく解説して頂きました。



II. 家庭とICT [5] ICTトラブル①

ICTトラブル (学校の授業に活用するトラブル集)

● トラブルの種類
 学校の授業に活用するICT機器は、授業中にトラブルが発生することがあります。トラブル発生時の対応方法を、事前に把握しておくことが大切です。

● トラブルの原因
 トラブル発生時の原因は、機器の故障、接続の問題、設定の問題などがあります。トラブル発生時の対応方法を、事前に把握しておくことが大切です。

● トラブルの対応
 トラブル発生時の対応方法は、機器の故障、接続の問題、設定の問題などがあります。トラブル発生時の対応方法を、事前に把握しておくことが大切です。

II.家庭とICT

各家庭に事前アンケートを取り、家庭内でのスマートフォンの利用状況や疑問を調査しました。

III. 家庭とICT [1] アンケート結果 (スマートフォン) ①

● どのくらいスマートフォンを使っていますか？

● どのくらいスマートフォンを使っていますか？

学年	1年	2年	3年	4年	5年	計
利用しない	1	1	1	1	1	5
利用している	28	21	20	21	21	111
合計	29	22	21	22	22	116

III. 家庭とICT [1] アンケート結果 (スマートフォン) ②

● どのくらいスマートフォンを使っていますか？

● どのくらいスマートフォンを使っていますか？

学年	1年	2年	3年	4年	5年	計
利用しない	2	1	1	1	1	6
利用している	26	19	19	19	19	102
合計	28	20	20	20	20	108

III. 家庭とICT [1] アンケート結果 (スマートフォン) ③

● どのくらいスマートフォンを使っていますか？

● どのくらいスマートフォンを使っていますか？

学年	1年	2年	3年	4年	5年	計
利用しない	3	1	1	1	1	6
利用している	16	17	17	17	17	74
合計	19	18	18	18	18	81

III. 家庭とICT [2] アンケート結果 (SNS) ①

● どのSNSを利用していますか？

● どのSNSを利用していますか？

学年	1年	2年	3年	4年	5年	計
LINE	16	16	16	16	16	80
Twitter	1	1	1	1	1	5
YouTube	1	1	1	1	1	5
Instagram	1	1	1	1	1	5
Facebook	1	1	1	1	1	5
合計	19	19	19	19	19	95

III.今後のPTA活動の一案

急速なIT化に伴い、保護者間で情報格差が発生してくることが容易に想像できます。また、学校のIT化に対しての理解が遅れる保護者もでてくると考えられます。一方、保護者個人でこれらをキャッチアップすることも、ハードルが高い場合がある為、今後のPTA活動として、IT化に係る教育現場の変化に関する保護者間の情報の共有や、IT研修等を行い、保護者のIT知識をフォローしていくことも施策として考えられるのではと思慮しております。

IV. 今後のPTA活動の一案 [1] ① ②

● 今後のPTA活動の一案

● 今後のPTA活動の一案

第 1 3 ブ ロ ッ ク

古 千 谷 小 学 校
舎 人 小 学 校
舎 人 第 一 小 学 校
足 立 入 谷 小 学 校

ブロック研修会議事録

【開催日時】 11月5日（土）16時～18時

【開催場所】 舎人第一小学校 被服室

【参加者】

古千谷小学校 : 7名

舎人小学校 : 8名

舎人第一小学校 : 7名

【議事内容】

本日は「自粛の中でのPTA ～今何ができるか～」について、副会長、会計、書記に分かれてディスカッションし、各班報告を実施する。

○書記発表内容

【PTA活動における工夫した点】

仕事をしていると学校に昼間集まることができないので、LINEを利用しどのような風な手紙を作りたいかなどの素案を共有し自宅のパソコンで文書を作成し、USBへ保存し学校のパソコンで印刷を行う。

また、GoogleDriveを利用しオンラインストレージ上での共有などを活用した。

【PTA活動において困難だった点】

今年度は行事を多数実施することができたが、どの行事も3年ぶりの開催となり現役PTA本部内で行事自体を経験している人がいなかったため、OBの方などに声をかけ情報共有をしていただき対応した。

各種行事案内における手紙の内容など、コロナ前とコロナ後では手紙の文面が変更になったため、その修正に時間を要した。

【改善点】

ニューノーマルに合わせたPTA活動のマニュアル作りを実施したいと考えている。

○会計発表内容

【PTA活動における工夫した点】

コロナ禍でもできることを模索し運営することを心掛けた。

コロナ前とコロナ後で集金金額を変更した。

会計項目の中に「コロナ対策費」を設立し、コロナ対策におけるアルコール購入であったり体温計の購入にあてた。

会計アプリの導入なども行った。

【PTA 活動において困難だった点】

行事の開催において、「開催する」「開催しない」の判断が直前となるケースがあり、景品などの物品購入が直近となってしまうケースがあり苦労した。

○副会長発表内容

【PTA 活動における工夫した点】

PTA 主催の行事などにおいて、衣装などコロナ前は使いまわしをしていたが、各家庭で準備するよう働きかけを行った。

GoGleDrive を準備し、学校に集まらなくても情報共有ができるようにした。

【PTA 活動において困難だった点】

PTA 会費の集金について、低学年がお金を学校へ持ってくるのは抵抗があるという意見があった。

現金受け渡しのため通用門での受け渡しなどを実施した。現金の受け渡しは大変なので、今後は引き落としなどを検討している。

仕事をしている人が増えているため、PTA 活動自体に出席できる人が偏ってしまう。場合によっては 1 度も PTA 活動に参加することがない人もいるため、均等に出席できるようにしたい。

【改善点】

全体的にアナログな部分があるので、世の中的にコロナによりテレワークが推奨されるようになったので、GoogleDrive などを活用していきたいと考えている。

また、アプリ導入して統計を取ることも考えている。

○会長発表

各学校の近況報告などを実施し、どの学校もコロナ禍でほかの保護者の方と接する機会が少なくなったため、次の役員候補が見つけれられないという課題があった。

舎人第一小に関しては、現本部役員が 5、6 年の保護者主体となっているため、次年度に向けて低学年や中学年の保護者の方を探すなどの課題がある。

どの学校も男性陣の活躍が以前より増えていっている。

各校交流が深められ情報共有ができたので、さらなる学校運営向上を実施したいと考えている。

中学校ブロック研修会

ブロック名	開催日	会場校
西新井北	12月10日(土)	第十四中学校
江 北	アンケート開催	加 賀 中 学 校
千住・中央	7月9日(土)	第 一 中 学 校
竹 の 塚	11月12日(土)	花 畑 中 学 校

【研修テーマ】

昭和53、54年度	これからのPTA活動のあり方を求めて
昭和55、56年度	望ましいPTA活動のあり方を求めて
昭和57、58年度	地域に即したPTA活動のあり方を求めて
昭和59、60年度	活力あるPTA活動を求めて
昭和61、62年度	時代の変化に即応したPTA活動を求めて
昭和63、平成元年度	21世紀へむけてのPTA活動を求めて
平成2、3年度	地域の教育環境向上に寄与するPTA活動を求めて
平成4、5年度	これからのPTA活動のあり方を求めて
平成6～11年度	活力あるPTA活動をめざして
平成12年度	新しい時代を切り開くPTA活動
平成13～16年度	教育改革とPTA
平成17～21年度	教育環境の向上と活力あるPTA
平成22～24年度	PTAを取り巻く環境と充実したPTA活動
平成25～29年度	これからのPTA活動とは
平成30～令和4年度	子どもたちのためのPTA活動とは

西新井北ブロック

第十四中学校
入谷中学校
入谷南中学校
西新井中学校
伊興中学校

令和4年度西新井北ブロック研修会報告

- 1 開催日時：令和4年12月10日（土）：14：30～15：30
- 2 会 場：足立区第十四中学校体育館
- 3 講 演：足立区第十四中学校 PTA おやじの会の取り組みについて
- 4 講 師：足立区第十四中学校 PTA 会長

内容

- ・第十四中学校独自で、動くのではなく、なるべく地域の方々を巻き込めるように活動したいと思っはいるが、コロナ禍の影響で非常に難しくなった。
- ・行事などは、箱に集めてまでやる必要はなく、見て済むものは見られる時に見られるものが良い。
- ・行事は子どもたちが主体でやった。おやじの会、開かれた学校づくり協議会はお手伝いの立場で徹した。
- ・やりたくない、やらなければではなく、人と会い楽しく出来るようにできればよい。
- ・子育ては親だけでは出来ない。地域との関わりが必要。
- ・情報発信が重要と思っており、各校に広報紙を送付するだけでなく、紙1枚で工夫したことを伝えるように努めた。また、生徒数によって、予算の多い少ないがあり、当PTAも余裕はなかった。そのため、先生紹介号のみ発行は難しかったし、広報紙コンクールへの応募目的の発行はするべきではないとの意見が多かった。

・今後の PTA 活動について

新型コロナウイルスの感染が完全に収束していないので、行事の開催については、そのつど学校長などとの協議で判断しており、時間も手間も掛かる状況に、PTA会長や本部役員の負担が大きい状況が続いている。また、コロナ禍以前と同じようなPTA活動や地域活動も難しくなるとの意見も多い。今までとは違うPTA活動を作っていく必要を強く感じるので、各校PTAとの連携は今後も必要である。

感想（アンケート）

- ・各校でもコロナ禍であっても苦勞と工夫で PTA 活動を行っていることが非常に勉強になった。
- ・とにかく子供たちのためにとの強い思いの PTA 活動があることが、改めてわかった。
- ・何があっても学校側との連携と、各校 PTA の連携があれば、乗り切れると思った。
- ・地域の方々との連携や協力はいつの時も必要で、こどもの成長の見守りが豊かな地域を作ると思った。
- ・各校の考え方や取組みを知ることができ、大変参考になりました。出来る事をやろう！との気持ちで皆さんも活動されているので、改めて勇気づけられました。
- ・PTAの在り方、必要な活動は何かを、いつも考えています。良い機会でした。来年度以降も、PTAは何ができるのか、また、どうすればよいかを、話し合いながら進めていければと思います。

江北ブロック

江南中学校
新田中学校
江北桜中学校
加賀中学校
鹿浜菜の花中学校

質問 1.

子供たちのための行事は開催されていますか？

(例：英検、進路対策、面接練習など)

学校名	各校からの回答
江南中	検定などはしていますが、学校の活動以外ではないです。
鹿浜菜の花中	各学年でのイベントや進路対策や相談
新田中	修学旅行、体育祭、英検など感染対策に留意しながら行われています。
江北桜中	例年であれば夏まつり等の活動がありましたが、新型コロナによる影響で、昨年度末に地域団体の企画、卒業生による「バルーン・リリース」の手伝いや、開かれた学校づくり協議会共催のあいさつ運動、花植え等が主とした活動だった。
加賀中	P T Aとして単独での活動はありませんでしたが、学校行事のお手伝い（運動会、文化祭の受付）、開かれた学校づくり協議会の朝の挨拶運動、花いっぱい運動、地域清掃、面接指導等のお手伝いをしました。

質問 2.

保護者に対しての活動はされていますか？

(例：講習、パトロールなど)

学校名	各校からの回答
江南中	していません。
鹿浜菜の花中	学校のわからないことなどの窓口
新田中	地域道徳講座は開催しました。パトロールは地域の催しが無かったため行わなかったが、実施に備えてメンバーの割り振りなどは行いました。
江北桜中	ソフトボール、バレーボールは人数が少ないながら活動している。 昨年度は全体の活動を見直すため全保護者に対しアンケートを行った。 また今年度は保護者にとって負担の大きい委員長（代表）を試験的に置かない運営及び基本連絡手段をLINEとし、学校での対面での会議を削減した。
加賀中	江北ブロックや中P連主催のソフトボール大会及びバレーボール大会での選手での出場や活動に必要な経費を渡して円滑に大会に臨めるように協力をしました。

質問3.

今後、子供たちのためになるPTA活動を考えていますか？

学校名	各校からの回答
江南中	具体案としてはありません。
鹿浜菜の花中 新田中	常に思っておりその上での出来ることを出来るだけ負担を少なく考えています。 子供たちの為の活動はコロナ前に行われていたものを原則踏襲する形で検討しています。 また、保護者の活動負担を減らしたり、子ども達と近い距離で行えるPTA活動を模索するなど、親子で楽しめるPTA活動をモットーに今後展開していきたいと考えています。
江北桜中	子ども、保護者が負担感なく気軽に参加できる行事を模索しています。 パソコン・プログラム研修、理科実験教室などまたコロナが落ちついたら、夏まつりを開催したいと考えています。
加賀中	コロナでイベント開催が厳しいところですが小規模でも何か子ども達の楽しめるイベントを本部が先頭に立ち検討しています。

担当校総評

まずは各校のPTAのみなさんアンケートのご協力ありがとうございました。

各校の回答を拝見して、やはりコロナの影響は少なからずともあり、活動が思うようにゆかないと感じました。

ただ、PTAは学校の先生方や保護者、または地域の方々をつなぐ架け橋でとても大切な位置にあるかと思います。

継続は力なりではありませんが、出来ることを出来る範囲で活動し、子ども達のため、そしてご自身の成長のために引き続き活動を続けてもらえればと思います。

最後に早くコロナが収束して、通常通りのPTA活動が行えるように願っています。

担当校：加賀中学校PTA会長

千住・中央ブロック

第一中学校
千寿桜堤中学校
千寿青葉中学校
第十一中学校
青井中学校
栗島中学校

令和4年度 足立区立中学校PTA連合会 千住・中央ブロック研修会 報告

日時 令和4年7月9日(土) 14時～16時

場所 足立区立第一中学校 体育館

参加者 120名

〈講演〉

テーマ 子どもたちのためのPTA活動とは

タイトル ～命を守る！東日本大震災から得たもの～

講師 足立区立第一中学校 校長

歴任校 平成25年、26年 台東区立浅草中学校(副校長)

平成27年、28年、29年 台東区立上野中学校(副校長)

平成30年、令和元年、2年 台東区立桜橋中学校(副校長)

令和3年、4年 足立区立第一中学校(校長)

令和4年7月9日(土) 14時から第一中学校体育館にて、コロナ禍の中3年ぶりにブロック研修会が開催されました。

第一中学校 校長先生より。

題目は【～命を守る！東日本大震災から得たもの～】約11年前に発生した東日本大震災を通して校長先生の経験などの話を聞いたり、学校ごとにディスカッションを行った。

【講師の第一中学校校長の経験を基に、被災地での経験】

1. この体育館の中でお互い知らないもの同士でコミュニケーションを計る。

被災した際に、面識のない者同士のコミュニケーションの取り方を学ぶ。

※ペアを組んでジャンケンを行い、負けた人から自己紹介をし、3.11の当日、自分は何をやっていたのか？勝った人に伝える。

2. 実際に被災者になった子供の紹介

震災で家族(祖母・母・叔母・従兄弟)を失った18歳の生徒の話。

亡くなった祖母からもらったトランペットを使い海に向かって演奏している記事を新聞に掲載したところ、吹奏楽団の人が見つけて東京で開催されたコンサートに女子生徒を招待して一緒に演奏し、被災した人たちを勇気づけた。

3. スマートホンを使用して、アンケートに答える

震災時に自分がいた場所、困った事を回答した。

4. グループディスカッション

各校、一中は各学年、約 10 グループ程に分かれて、震災に役立ったグッズ、震災の映像を見た感想を
発表

グッズ (3 つ) 発表者がスマートホンを使用して入力をする

5. 講師 第一中学校校長先生が作成した映像鑑賞

2011 年 3 月 11 日、地震、津波、放射能による汚染。

これまでに経験したことのない様々な被害をもたらした東日本大震災が発生しました。

あれから 11 年という月日が経ちましたが、講演会での映像、講師のお話を聴いて、当時感じた思いが
鮮明によみがえりました。

グループワークでは、どのように震災と向き合ってきたか、それぞれが抱いていた思いを話し
合い、改めて命の大切さを学ぶ機会をいただきました。

もし、今後この先の未来のどこかに私たちが震災の被害と向き合うようなことがあったら、どのように
行動すればよいのか、大切な人をどうやって守っていけるのかを考えさせられました。

家族・地域・学校・保護者 それぞれが普段からコミュニケーションを取り合うことで絆が生まれ、お
互いに助け合う大きな力を生むことも知りました。

大切な子供を守るために、PTA として学校や地域の方々とコミュニケーションを取り合い、絆を大切に
していきたいと思います。

東日本大震災が起きて長い月日が過ぎても、忘れてはいけないし、語り続けていきたいと思います。

竹の塚ブロック

東島根中学校
渕江中学校
竹の塚中学校
花畑中学校
花畑北中学校
花保中学校
六月中学校

令和4年度 竹の塚ブロック研修会 ◆講演会◆

■実施概要

- ・日 時 令和4年11月12日（土曜日）14時～15時30分
 - ・主 催 校 足立区立花畑中学校
 - ・会 場 足立区立花畑中学校 体育館
 - ・参 加 者 90名
 - ・講演会テーマ 「これからの社会で求められる能力 ～保護者がなすべき役割～」
 - ・講 師 ANAホールディング株式会社 社外取締役
小林いずみ 様
 - ・プログラム 開会のことば [浏江中学校PTA会長]
ブロック長挨拶 [竹の塚中学校PTA会長]
ブロック校長挨拶 [東島根中学校校長]
校長先生紹介 [東島根中学校PTA会長]
PTA会長紹介 [花畑中学校PTA副会長]
講師紹介 [花畑中学校PTA副会長]
講 演 「これからの社会で求められる能力～保護者がなすべき役割～」
ANAホールディング株式会社社外取締役 小林いずみ様
質疑応答
お礼のことば [六月中学校PTA会長]
会場校校長挨拶 [花畑中学校校長]
閉会のことば [花保中学校PTA会長]
- ※司会進行 花畑中学校PTA副会長・花畑北中学校PTA副会長

■講演内容

1 自己紹介

二十歳の時に、3か月間大学をずる休みして、子供の頃から行きたかった南太平洋のトンガからサモアまで、ヨットで横断した経験が、今の自分の原点です。（写真紹介）

アメリカのインベストメントバンクのメリルリンチ社に採用、その後、メリルリンチ日本証券に25年、アメリカ本社に勤務し、2001年に社長就任、7年間社長を務め、2008年から約5年間ワシントンにある世界銀行（国連）、民間銀行など、金融業務に長年携わってきました。このような経歴から、帰国子女や海外の大学に留学していたと思われるかもしれませんが、練馬区の公立小中学校出身です。

当時、転職が男女とも根付いていなかった為、新聞の就職情報に載っていた外資系企業に、後先考えずに応募して採用になりました。

二十歳の時の冒険。この3か月間の経験で、狭い空間（ヨット内）での人間関係に対する感情のコントロールの難しさや自分の弱さを漠然と知り、このままではいけないと気付きました。

「生きて行く為に、どのように強くなったら良いのだろう」という課題が常にありました。そして、「常に自分自身が楽しく生きて行く為にどうしたら良いのか」という事が自分の心の中に沸々とあり、これがあつたおかげで、自分の人生を進んで選択できるようになったと思っています。

2 今の時代

【VUCAの時代】

V o l a t i l i t y	変動的
U n c e r t a i n t y	不確実
C o m p l e x i t y	複雑
A m b i g u i t y	曖昧

3 日本企業の求めること

【学生に求める資質、能力、知識】

1. 主体性 (2546 点)
2. 実行力 (1733 点)
3. 課題設定・解決能力
 - ・ 創造力
 - ・ 論理的思考力
 - ・ 社会性 (829 点)
 - ・ 倫理観
 - ・ 自分の意見を発信する力 (260 点)
 - ・ 異文化理解力
 - ・ 他人の意見を聞く力
 - ・ A I ・ I o T 等の革新技術に関する知識 (219 点)
 - ・ 一般教養 (160 点)
 - ・ 外国語能力 (240 点)

経団連「高等教育に関するアンケート結果」(2018 年度)

主体性や社会性を高く求めるのに、自分の意見を発信する力、A I ・ I o T 等の革新技術に関する知識の点数が低いのはなぜか。

4 グローバルな視点で

【世界からみた日本への評価】

G o o d

B a d

- ・秩序
- ・規律
- ・勤勉さ
- ・清潔さ
- ・相手への敬意
- ・決断しない
- ・不明確な主張と論理
- ・リスクを取らない
- ・木を見るが森を見ない

5 これからは、どんな力が必要か

アメリカで一番人気のあるスーパーボールの試合中に停電が起きました。（写真紹介）

皆さんはどれ位の時間を我慢することができるのでしょうか？

日本のインフラは素晴らしいので、提供される事があたりまえになっています。災害においても、想定外の事が起こった時に、自分で考え解決策を考える事が大切です。我々は何が正しいかわからない正解がない時代を生きて(生きて)います。自分で考える力、多面的に考え決断する力が重要です。

【正解がない時代を生きる】

- ・自分で考える力 → ストーリーを作る
- ・多面的に見る視点 → 一つの事象に対する異なる意見を知りその立場と理由を考える
- ・自分の意見を説明する → 相手が理解できるように話を組み立てる
- ・人の意見を聴き、取り入れる柔軟性 → 異質なものに価値があると考え
- ・リスクをとる → 成功体験で次に踏み出せる

① 物事のアップサイド・ダウンサイドを考える

② 自分のリスク許容度を知る

③ リスク許容度を広げる

リスク排除を親がしない→自分で乗り越える経験が大切

生きていく自信になる！！ リスクをとらない人生はない！！

6 保護者ができること

【保護者の役割】

- ・綺麗な道を作らない → 挫折は早いほど良い
- ・答えを与えない → 正解はひとつではない（グローバルな視点）
- ・失敗は褒める → 失敗を責めるのではなく、失敗の原因を考えることが大切
- ・冒険をさせる → 冒険で人は成長する（チャレンジさせる）
- ・自分が社会を理解していると思わない → 未来の社会はこれまでの延長線上にはない
- ・子供から学ぶ → 子供の姿から、これからの自分の生き方を考える

子供達に伝えたいこと、自分の人生のオーナーになってください。最終的に決めるのは自分です。

親は信じて見守ること。教育の最終的な目標は一人一人の子供達に、いろんな意味での生きる(生きる)力を付けさせることだと思います。

学習能力だけではなく、何が得意で、何が好きで、どういう風に生きていきたいのかを考え、自分の道を選んでいくのが重要であって、必ずしも良い成績を取って良い大学に行くことが成功ではありません。公立の学校は色々な子供達がいる、社会性を身につけることができるのは、とても価値のあることです。

子供達が良い人生を送れるように社会全体が応援してくれるような、そんな時代になって欲しいと思います。

■所感

1 枚の写真。「荒波に、前進する船上でバランスをとり帆を掴む少女」まさに、講演者の未来を写し出しているかのような二十歳の頃の写真。海と対峙していた大学時代の部活(ヨット)での経験が経営での仕事でも活かされていることに、子供に冒険をさせることの意味や大切さを、痛感した。

子供の為に、先回りして綺麗な道を作り、子供の思考能力を親である自分自身が止めていたことに、改めて気付かされた。子供を信じて、子供の姿から学べる大人でありたいと、沢山の勇気とヒントをいただけたことに感謝したい。

■アンケート結果(一部抜粋)

- ・子供達には、悔いのない人生を生きてもらおう為、自分自身で決断するようサポートしていく保護者でありたいと思いました。
- ・子に学びながら“失敗”と見える状態になった時は、そのことを子供と共に受け止められる親でありたいと思います。
- ・子供がつまづいた時に『今、失敗できて良かったと褒める、親の器の広さをもつ』本当にそうだと思います。そして落ち着いた時に、一緒に失敗した原因を考え、乗り越え、成長できたことを喜び合いたいと思いました。
- ・自分が若かった頃は自分で考え自分が決断し、失敗もしたから、今があるということを思い出しました。
- ・小林先生のお話を聞いてとても勉強になりました。リスクを経験することで、大人になってから役に立つこと、また見守ることの大切さも学びました。子供の為にやってあげていたことが子供の為になっていなかったことに気づき、これからは親もリスクを背負う形で子供に接していきたいと思います。
- ・子供が小さい頃から、子供にすぐ口を出してしまっていたなと反省していた所だったので、もっ

と早く小林先生のお話をお聞きしたかったです。

- 正解のないこの時代を強く生きていくように講演会の内容を子供達に話そうと思いました。自分で考え、行動させ、失敗も挫折もさせ、その都度受け止めて一緒に考えてみようと思います。
- 良かれと思ってしていることが、子供のこれからの生き抜く力を、低下させていたのかもしれない。
- 情報が多い世の中で、人の考えを鵜呑みにしてしまう傾向はすごくあると思います。その中で、いかに自分の考えを持つかということが大切だということを考えさせられました。
- 子育てをしていく中でも、少し肩の力を抜いて、子供を見守っていきたいです。
- 子供達が人生のオーナーになれるよう、少しずつ保護者の私達が変わっていかなければならないと考えさせられました。
- 子供を信じて見守ることは凄く難しいが、頑張ろうと思いました。子供達が生き生きと人生が送れるように教育をしていこうと思います。
- 私が子供だった頃に聞ければ良かったと思える程に勇気を導かれ、心が温かくなりました。

以上

令和4年度

足立区立小・中学校PTA
ブロック研修会実施記録

足立区教育委員会
青少年課

発行 令和5年10月

足立区中央本町1-17-1

TEL (3880) 5275

FAX (3880) 5641